

第2回 徳島駅周辺まちづくり計画策定検討会 資料

徳島駅周辺まちづくり計画における整備方針(案)

平成29年10月6日
都市整備部まちづくり推進課

■徳島駅周辺まちづくり計画策定検討会のスケジュール(予定)	P 2
-------------------------------	-----

■今回の検討事項	P 4
----------	-----

徳島駅周辺まちづくり計画における整備方針(案)

1. 都市機能集積による都市のにぎわい創出	P 6
-----------------------	-----

2. 魅力ある公共空間の創出	P41
----------------	-----

3. 駅周辺へのアクセス性・回遊性の高いモビリティ	P50
---------------------------	-----

徳島駅周辺まちづくり計画策定検討会のスケジュール(予定)

徳島駅周辺まちづくり計画策定検討会のスケジュール(予定)

第1回 (開催済)

- ・ 駅周辺まちづくりにおける3つの整備方針(案)の共有
 - ①より一層のにぎわいの創出
 - ②都市の魅力づくり
 - ③公共交通の利用促進

第2回 (10月開催)

- ・ 整備方針(案)に対応したまちづくりの方向性の議論
(方向性を議論するためのデータ提示)
(議論を深度化するための必要データの洗い出し)
- ・ 検討会の各回のテーマ、スケジュール

第3回 (11月予定)

- ・ 徳島駅周辺のまちづくり上の課題
- ・ まちづくりのコンセプト・将来像・整備方針

第4回 (12月予定)

- ・ 将来像や整備方針を実現するための各種施策
- ・ 連続立体交差事業を見据えた施策実施時期の調整

第5回 (1月予定)

- ・ まちづくり計画(素案)の調整

今回の検討事項

今回の検討事項

検討内容

- ・ 整備方針（案）とまちづくりの方向性
（方向性を検討するための現況等のデータ提示）
（検討を深度化するための必要データの洗い出し）

整備方針(案)

検討の論点

都市機能集積
による都市の
にぎわい創出

- ・ 駅周辺に導入すべき都市機能は？
（駅周辺まちづくりのターゲット）
（都市圏の中での徳島駅の役割）
- ・ にぎわいを創出するためのソフト事業は？

立地適正化
との整合

魅力ある
公共空間の創出

- ・ 活かすべき駅周辺の地域資源は？
- ・ その地域資源の活用方策は？

駅周辺への
アクセス性・
回遊性の高い
モビリティ

- ・ 駅周辺へのアクセス性向上に必要な事項は？
- ・ 駅周辺の回遊性向上に必要な事項は？
（「駅前広場」、「ネットワーク」、「移動手段」を視点として、鉄道高架事業や公共交通利用を促進）

1. 都市機能集積による都市のにぎわい創出

1. 都市機能集積による都市のにぎわい創出

【まちづくりのターゲット】

- 総合戦略では、特に若者・若年層、子育て層に向けた施策を重視。

■「徳島市未来チャレンジ総合戦略」における施策の展開方針

起業創業支援	⇒大学と連携した起業促進・人材育成、創業のサポート
雇用創出	⇒企業誘致の促進、女性の就業促進
子育てにかかる負担軽減	⇒住居にかかる負担軽減
子育て支援	⇒サポート体制の充実、子育ての拠点づくり、子育て世代のニーズに対応した公共施設等の環境整備
次世代を支える人づくり	⇒シニア世代の生きがいを持って健康に暮らせる環境づくり
都市の魅力発信	⇒徳島市民自らが地域を愛する気持ちを醸成、魅力体験の環境づくり
移住・定住促進	⇒定住の場としての魅力の明確化、大学生の地元就職促進
中心市街地の魅力向上	⇒人が集まる仕掛けづくり、都市を象徴する場としての環境整備、中心商店街の活性化
新たな社会システムの構築	⇒公共交通の再編、利用促進、地域包括ケアシステムの構築

若者・若年層

子育て層

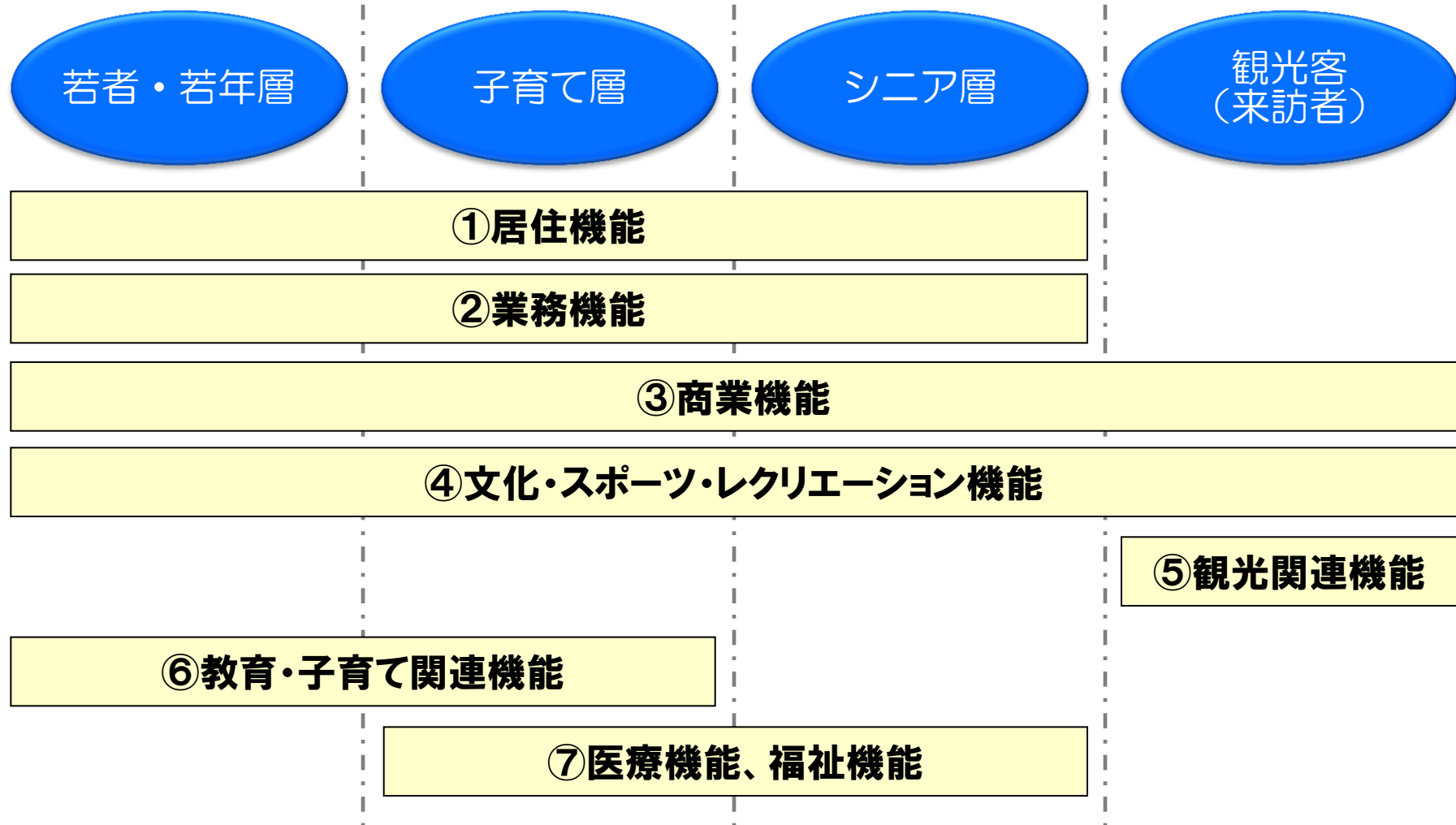
シニア層

観光客
(来訪者)

徳島駅周辺まちづくりのターゲット

1. 都市機能集積による都市のにぎわい創出

都市機能の分類



**徳島市や周辺市町村で大きく人口が減るなか、
駅周辺に、どのような都市機能を備えるべきか？**

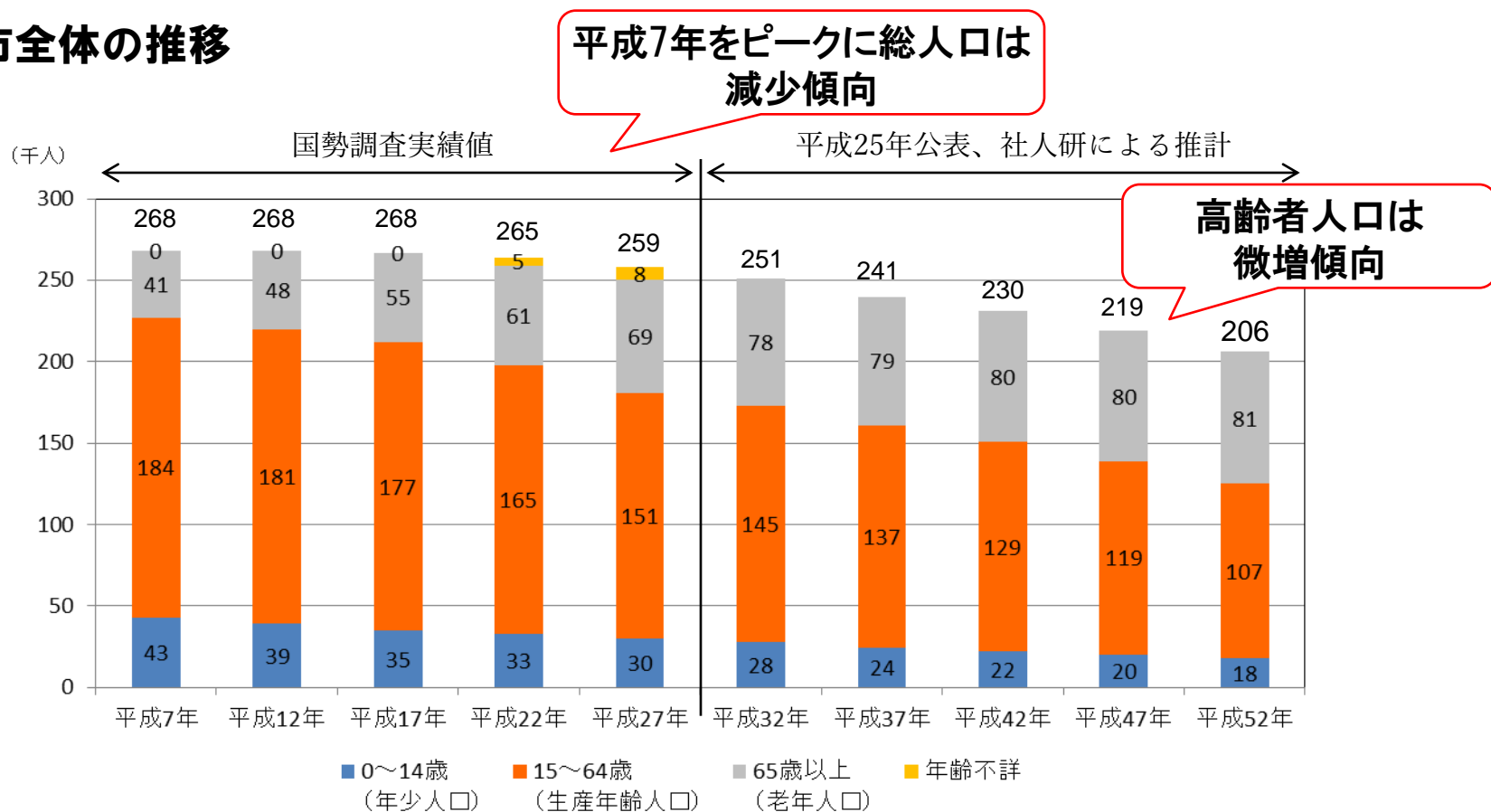
1. 都市機能集積による都市のにぎわい創出

① 居住機能

【人口推移(徳島市全体)】

- 徳島市は既に人口減少が進行している。
- 人口減少に合わせて高齢化も進展しつつあり、平成52年時点で40%弱となる見込み。

■ 徳島市全体の推移



出典: 国勢調査、社会保障人口問題研究所資料

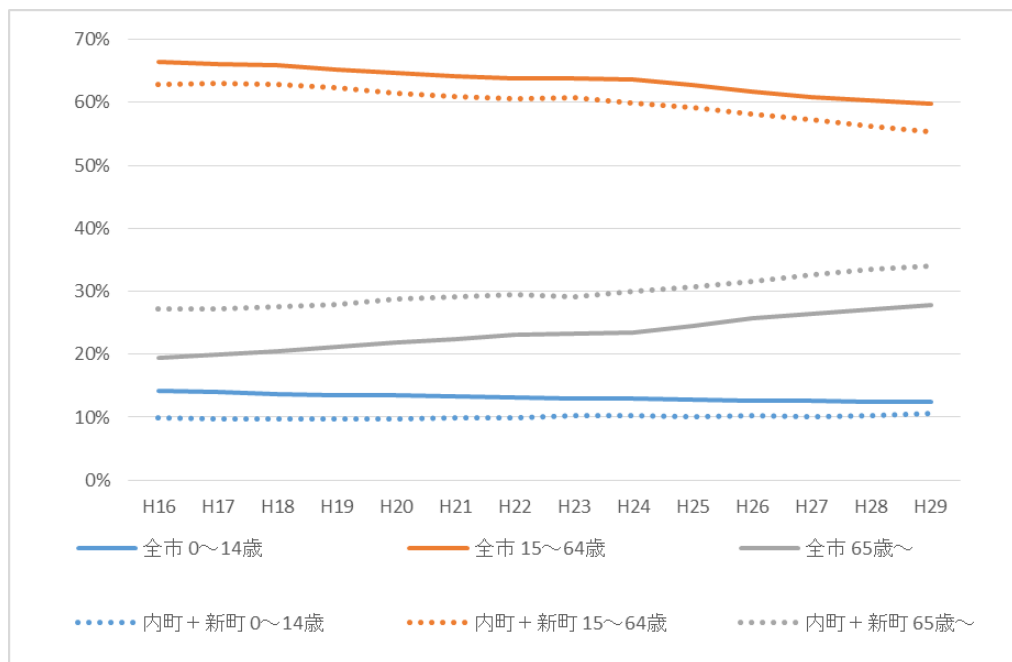
1. 都市機能集積による都市のにぎわい創出

① 居住機能

【年齢別人口推移(徳島市・駅周辺)】※駅周辺:内町地区+新町地区

- 徳島市全体と駅周辺を比較すると、駅周辺の方が高齢化が進んでいる。
- 0～14歳に着目すると、徳島市全体は減少傾向にあるのに対し、駅周辺は約10年間で横ばいであるが、構成比そのものが小さい。
- 駅周辺の生産年齢人口(15～64歳)の割合は徳島市全体より低い。

■ 徳島市全体・駅周辺の年齢別人口推移



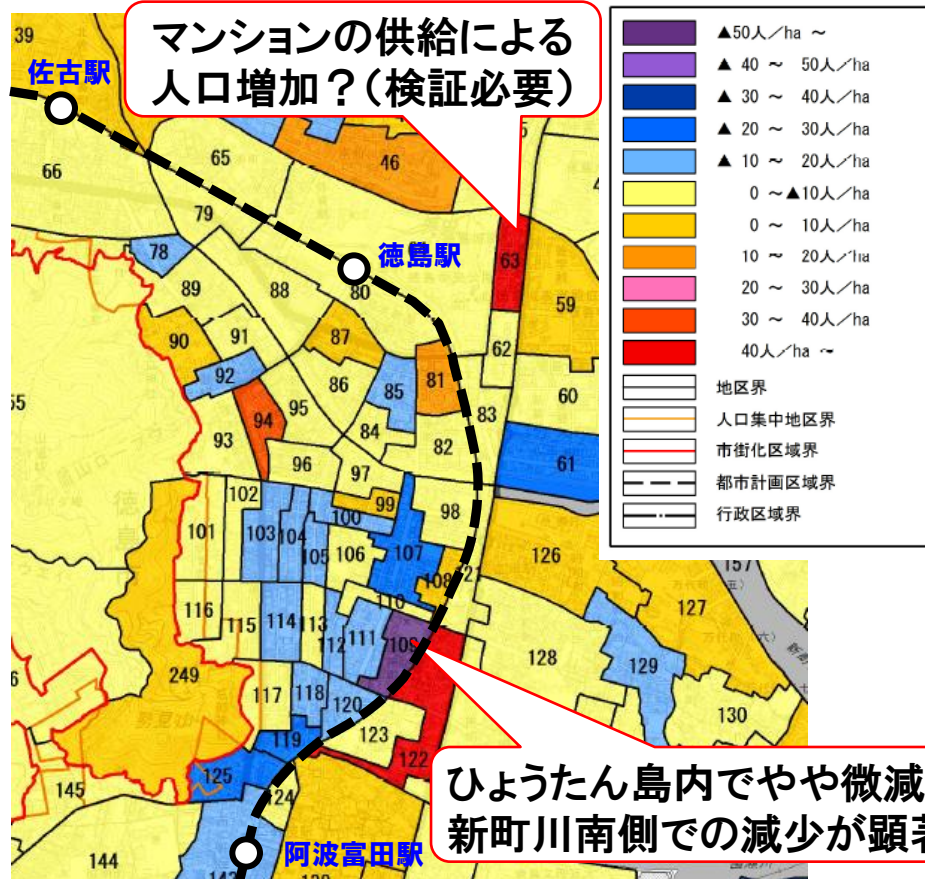
1. 都市機能集積による都市のにぎわい創出

① 居住機能

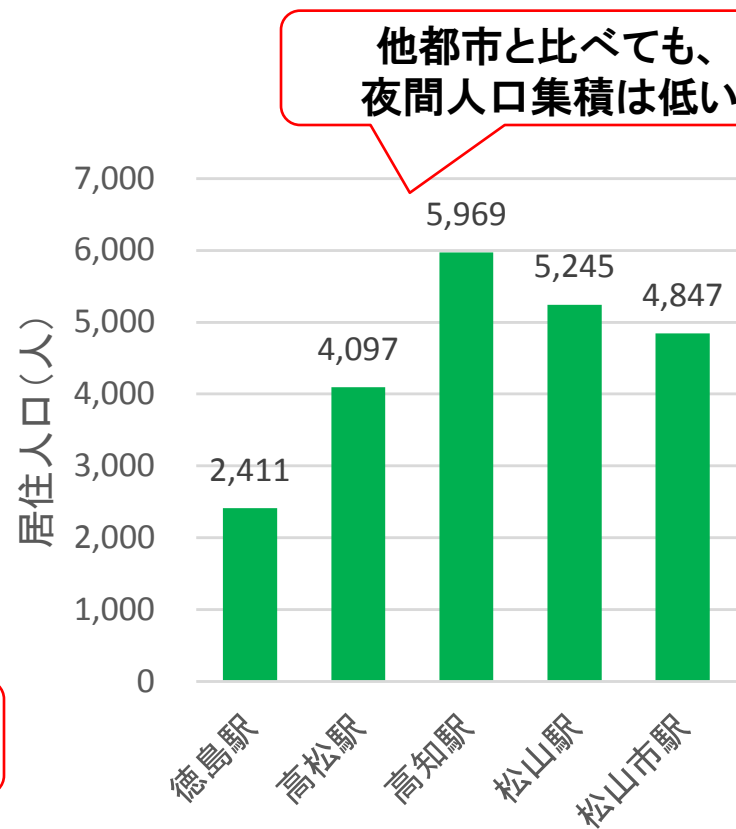
【人口推移(中心市街地・駅周辺)】

- 新町川南側での人口減少が顕著であるが、駅直近で人口は微減となっている。
- 駅周辺500mの人口集積は四国内拠点都市の中で最も低い。

■ 中心市街地の人口増減



■ 徳島駅周辺の人口規模 (駅周辺500mの夜間人口)



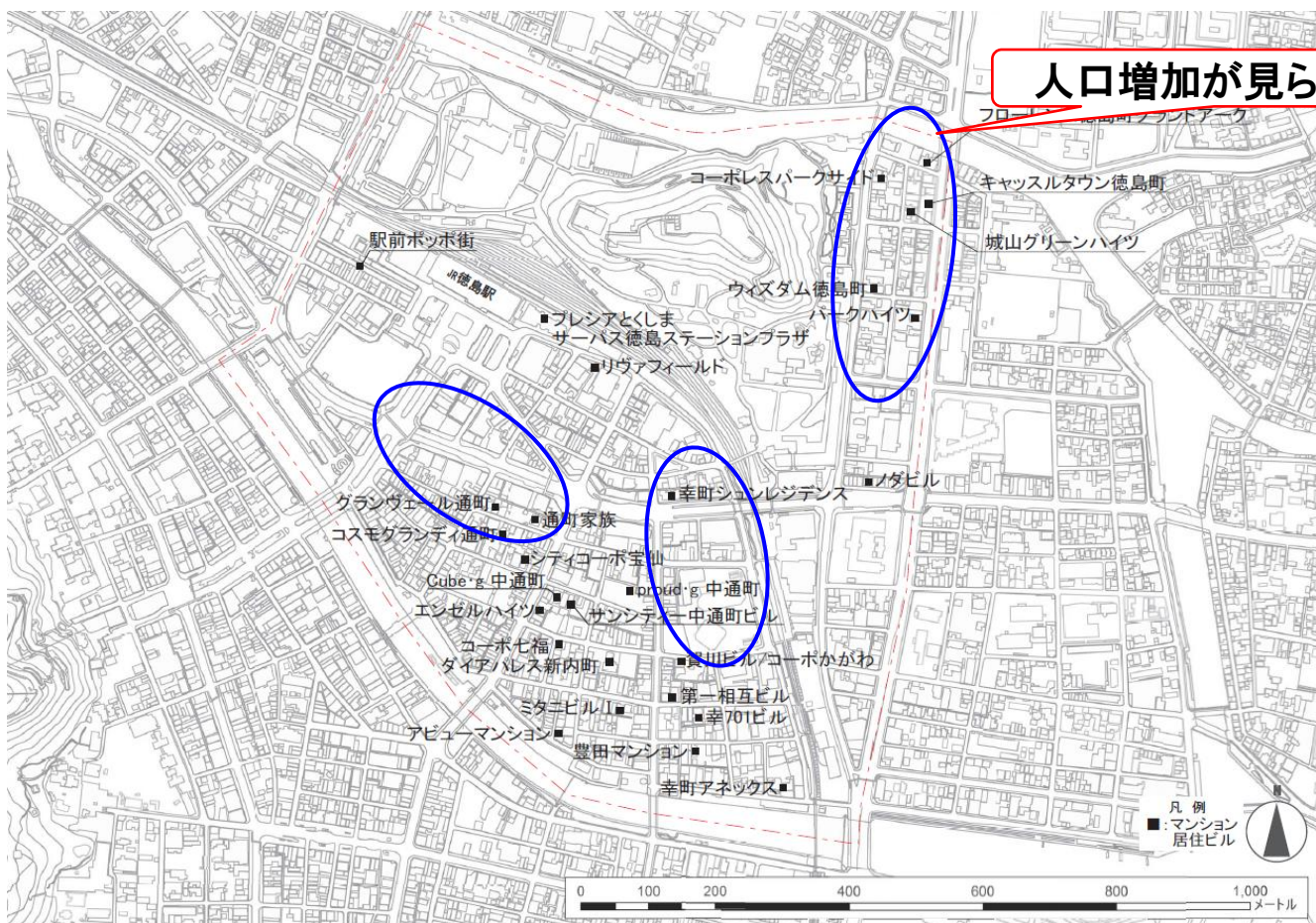
1. 都市機能集積による都市のにぎわい創出

① 居住機能

【人口推移(駅周辺)】

● マンションが立地した新規立地した箇所にて人口増加が見られる。(検証必要)

■ (参考) 駅周辺の集合住宅(10戸以上の居室が確認できる建物)の状況



1. 都市機能集積による都市のにぎわい創出

① 居住機能

現況まとめ

徳島市	<ul style="list-style-type: none">全市的な人口減少・少子高齢化の進行
中心市街地 駅周辺	<ul style="list-style-type: none">駅周辺においても人口は微減徳島市全市よりも高齢化が進行しており、生産年齢人口の割合も徳島市全市より低いマンション供給箇所では局所的に人口増加も確認駅周辺500mの人口集積は四国内拠点都市の中で最も低い

- ✓ 全市的に人口減少・高齢化が進行しており、中心市街地や駅周辺においてもその流れは同様である
- ✓ その傾向が顕著な駅周辺では、今後の高齢化の進行状況によっては、まちの活力がさらに低下する懸念がある
- ✓ 一方、マンション等の整備による人口増加も見られ、良好な住宅を供給した際には、駅周辺の居住人口の増加が期待される

方向性

- ✓ にぎわい創出につながる生産年齢人口や年少人口の割合の向上に向け、良好な住宅を供給・誘導していくとともに、日常生活に必要な商業機能の充実により、生活の利便性向上を図る

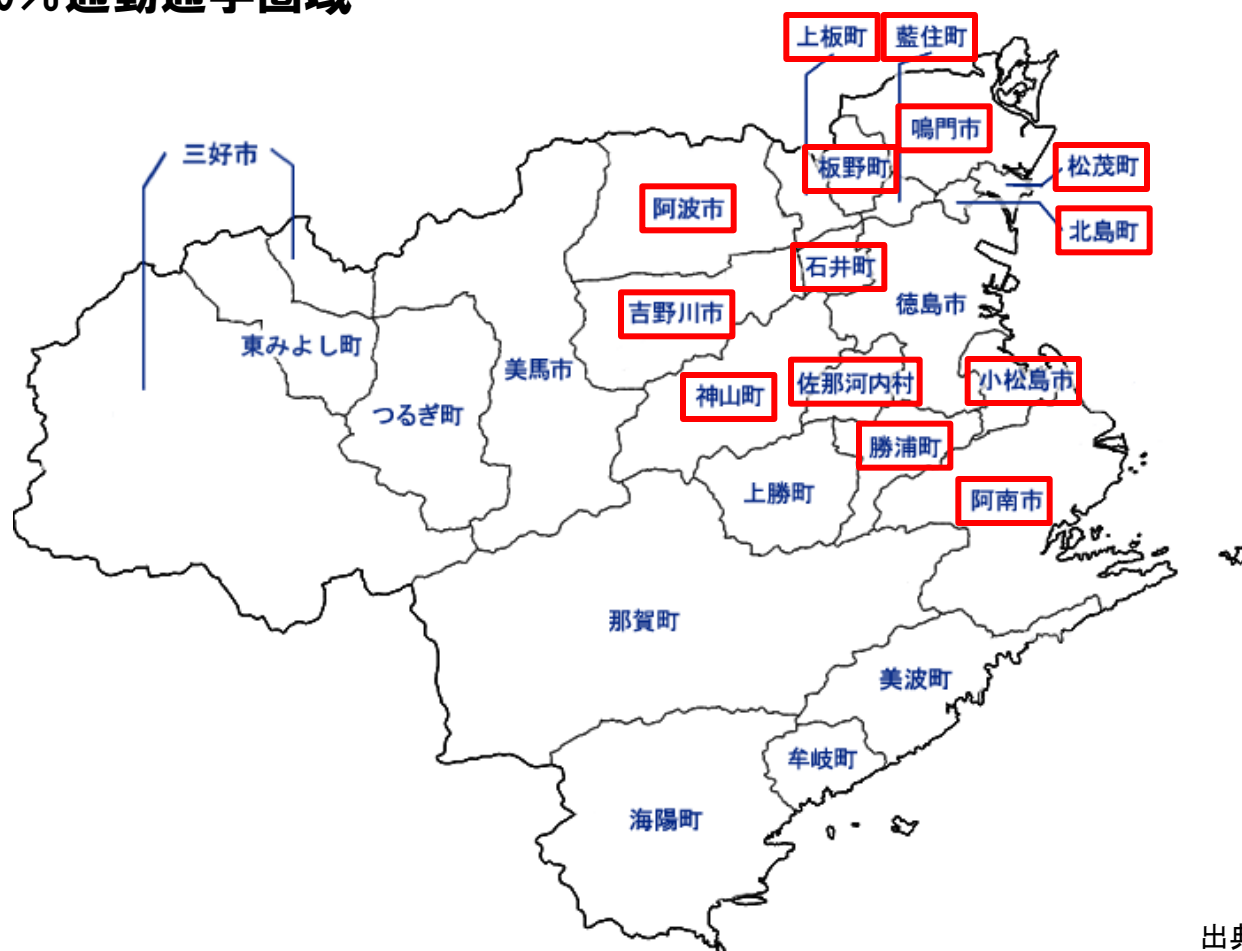
1. 都市機能集積による都市のにぎわい創出

② 業務機能

【通勤・通学圏(徳島市全体)】

- 徳島市の通勤・通学圏は広域であり、鳴門市や阿波市、阿南市などからも通勤・通学の流動が見られる。

■ 徳島市の10%通勤通学圏域



出典: 国勢調査

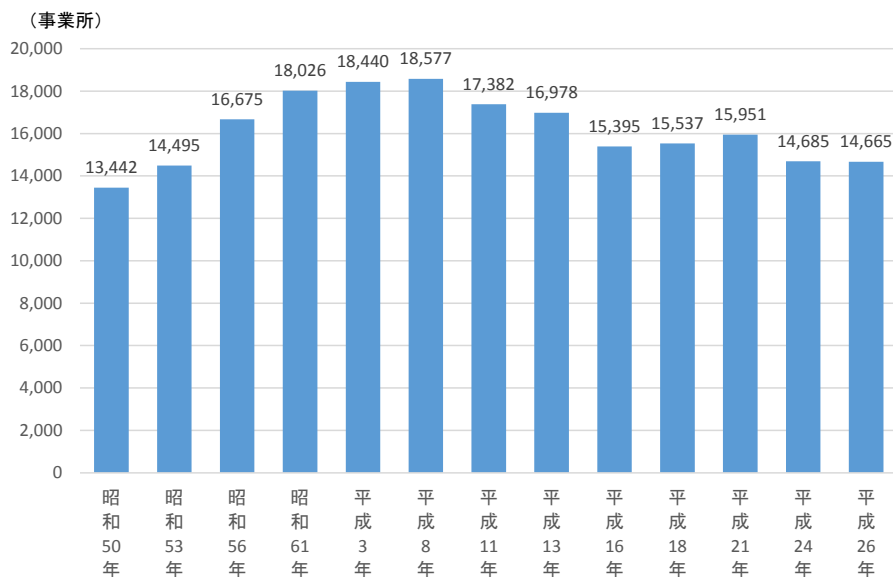
1. 都市機能集積による都市のにぎわい創出

② 業務機能

【事業所数・従業者数の推移(徳島市全体)】

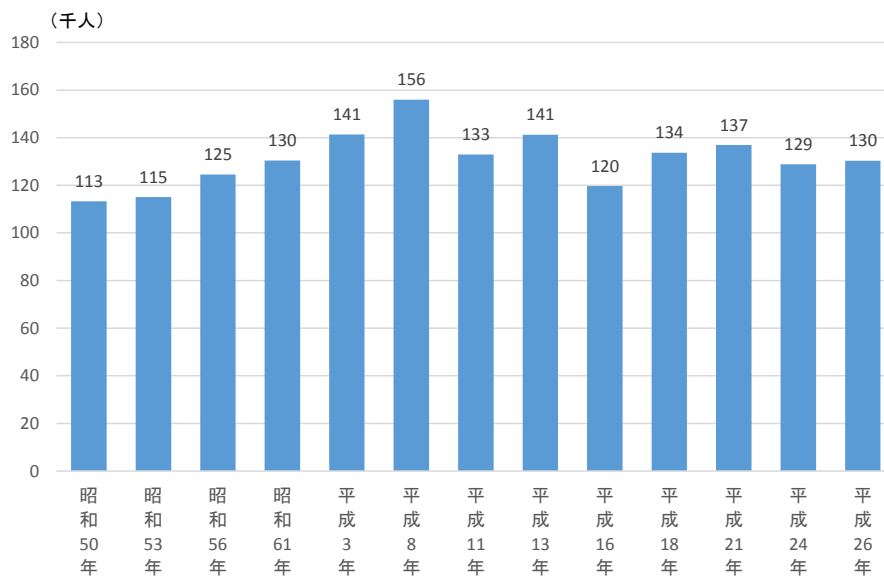
- 事業所数・従業者数ともに、平成8年がピークとなっており、それ以降は微減・横ばいで推移している。平成10年の明石海峡大橋開通をはじめとした広域交通網の発達等による本支社関連機能の統合が影響している可能性がある。

■ 事業所数の推移



出典: 徳島市統計年報

■ 従業者数の推移



出典: 徳島市統計年報

1. 都市機能集積による都市のにぎわい創出

②業務機能

【事業所数・従業者数推移(駅周辺)】※駅周辺:内町地区+新町地区

- 徳島市、駅周辺ともに事業所数・従業者数は減少傾向にあり、駅周辺の事業所数はこの5年で247事業所、従業者数は2,668人減少している。
- 駅周辺の従業者数の減少率はいずれも徳島市全市の減少率より大きい。

■事業所・従業者数の変化

	事業所数			従業者数		
	H21年	H26年	減少数 (減少率)	H21年	H26年	減少数 (減少率)
徳島市	16,331	15,031	▲1,300 (▲8.0%)	149,713	142,746	▲247 (▲4.7%)
内町・新町	2,736	2,489	▲247 (▲9.0%)	28,765	26,097	▲2,668 (▲9.3%)

出典:徳島市経済センサス

1. 都市機能集積による都市のにぎわい創出

②業務機能

現況まとめ

徳島市	<ul style="list-style-type: none">・ 周辺市町村から多くの通勤・通学があり、広域の業務機能を受け持っている・ 平成10年頃を境に、事業所数・従業者数ともに減少
中心市街地 駅周辺	<ul style="list-style-type: none">・ 駅周辺の事業所・従業者数ともに減少(市全体に比べて減少傾向が顕著)

- ✓ 拠点都市として、周辺市町村から多くの通勤・通学を受け入れているが、平成10年頃を境に市内の事業所数は減少傾向に転じている
- ✓ 市の中心である駅周辺での事業所数や従業者数の減少が顕著であることから、広域交通網の発達による本支社機能の再編等により、市内の業務機能も影響を受けているものと推察される

方向性

- ✓ 今後の人口減少等を踏まえると、従来のオフィスビルの供給等は現実的でなく、総合戦略に掲げた大学と連携した起業支援や女性の就業促進に係る機能といった新規性のある機能を誘導する。

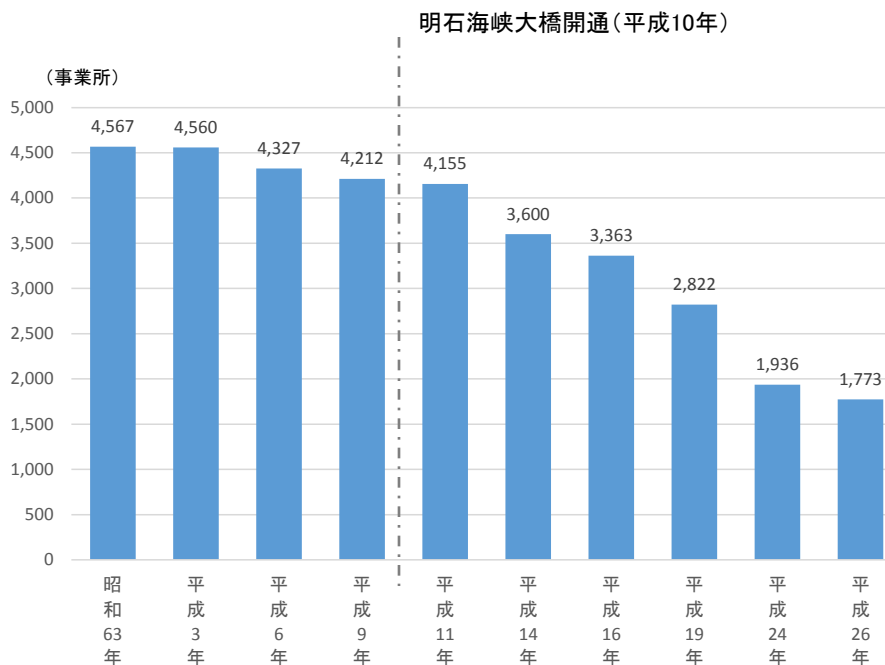
1. 都市機能集積による都市のにぎわい創出

③ 商業機能

【小売業事業所数・年間販売額推移(徳島市全体)】

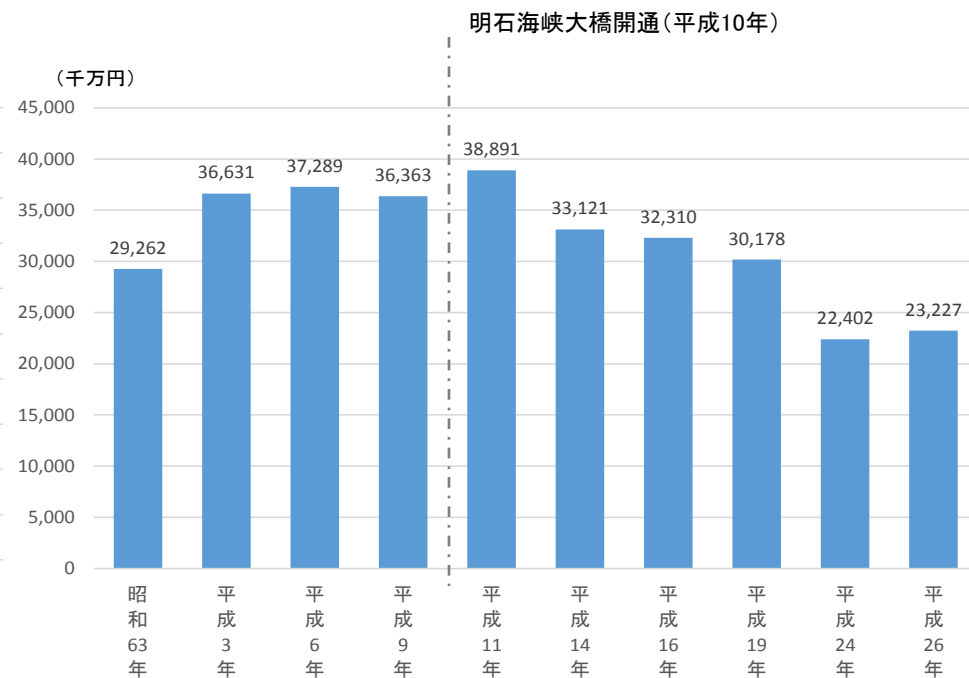
- 小売業の事業所数はこの30年間減少を続けている。一方、小売業年間販売額については、平成11年をピークに減少に転じている。

■小売業事業所数の推移



出典: 徳島市統計年報, 徳島市商業統計調査

■小売業年間販売額



出典: 徳島市統計年報, 徳島市商業統計調査

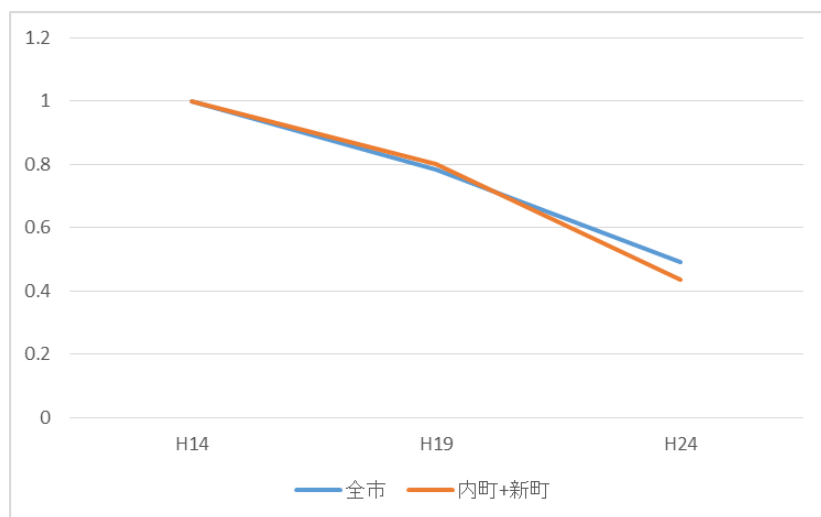
1. 都市機能集積による都市のにぎわい創出

③ 商業機能

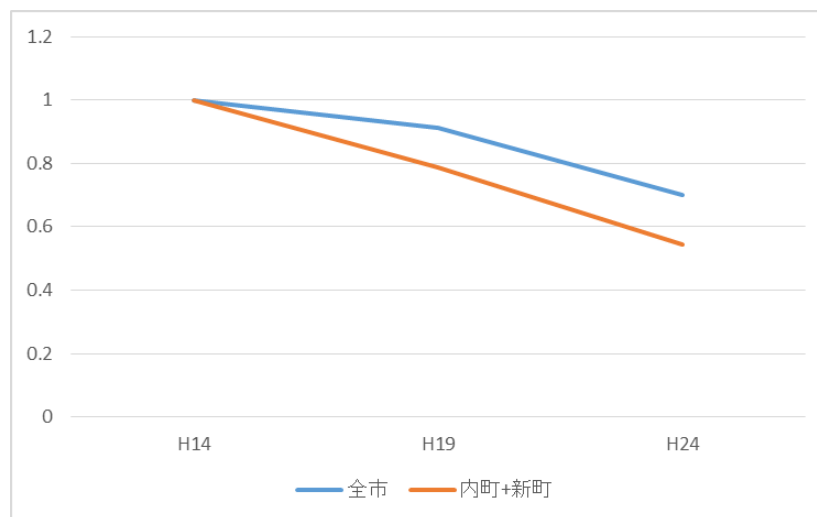
【小売業事業所数・年間販売額推移(徳島市・駅周辺)】※駅周辺:内町+新町地区

- 小売事業所数、年間販売額ともに、徳島市・駅周辺の両方で減少している。
- 小売事業所数の減少傾向は徳島市全体と駅周辺にそれほど差はないが、年間販売額の減少率に関しては、徳島市全体より駅周辺の方が約2倍減少している。

■小売業事業所数の推移 (H14比)



■年間販売額推移 (H14比)



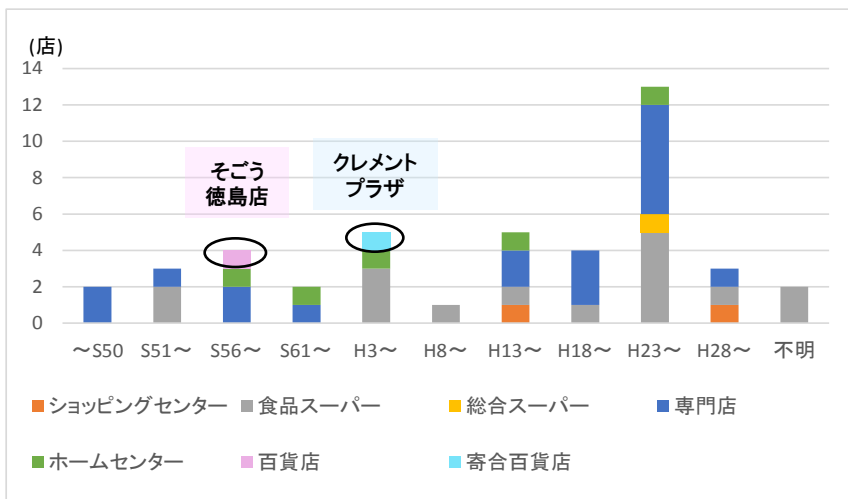
1. 都市機能集積による都市のにぎわい創出

③ 商業機能

【5年ごとの大型小売店舗数・業種推移（徳島市・駅周辺）】※駅周辺：徳島駅から半径1km範囲内

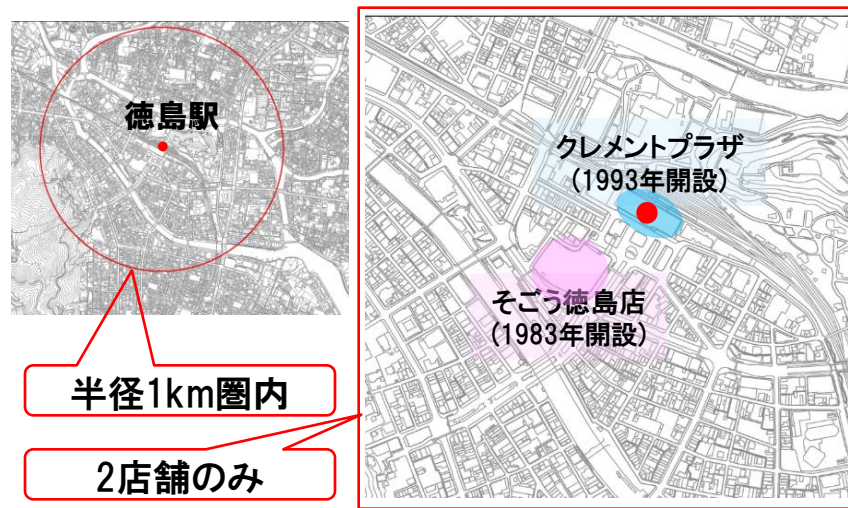
- 徳島市全域の大型小売店舗数の出店状況を見ると、昭和50年代から継続的に出店が続いており、H23年～27年の店舗開設数が著しく多くなっている。
- 大型小売店では、特に専門店や食品スーパーの開設数が多くなっている。
- 駅周辺における大型小売店舗は2店舗（百貨店と寄合百貨店）のみで、駅周辺半径1km圏外には無い業種である。

■年代別大型小売店舗出店数（徳島市）



出典：全国大型小売店総覧2017

■駅周辺の大型小売店舗所在地



出典：ゼンリン住宅地図

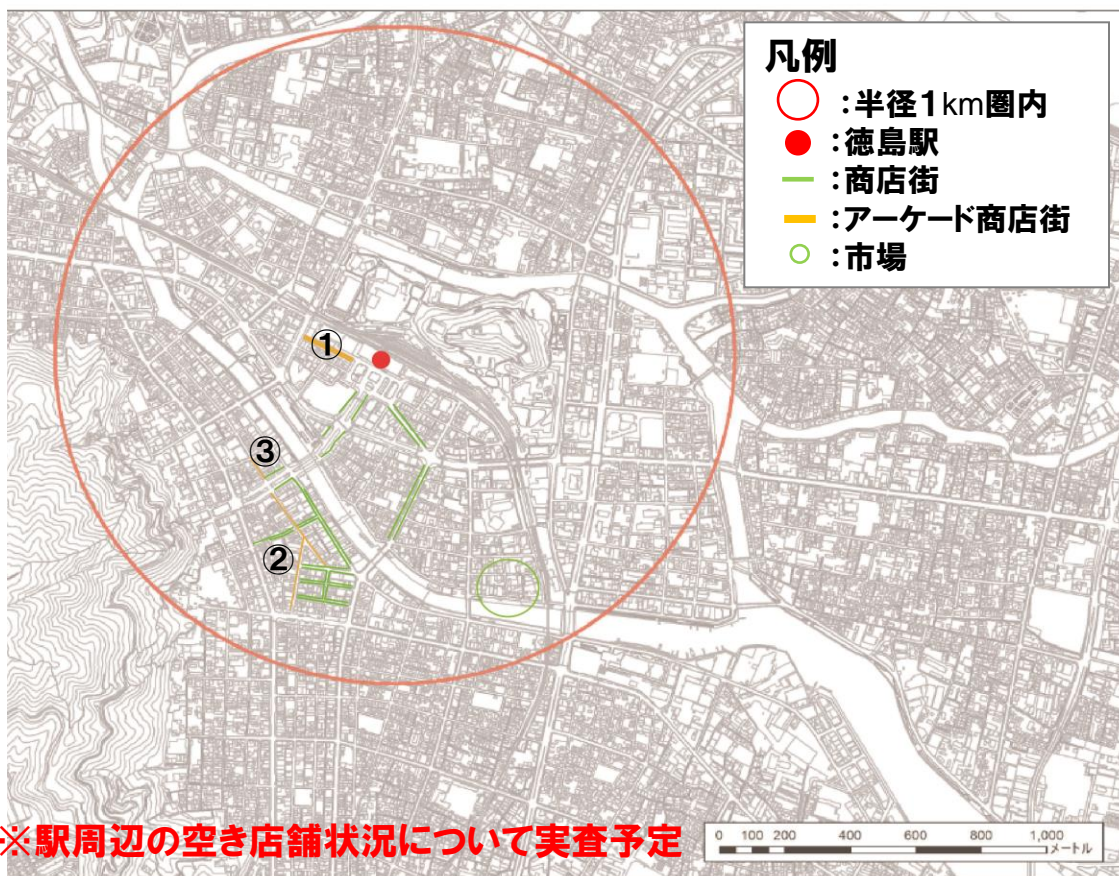
1. 都市機能集積による都市のにぎわい創出

③ 商業機能

【商店街の状況(駅周辺)】※駅周辺:徳島駅から半径1km範囲内

●駅周辺には商店街やアーケードがあるものの、多くがシャッター商店街化している。

■ 駅周辺の商店街の立地状況



■ 商店街の様子

①



ポッポ街商店街

②



東新町1丁目商店街

③-1



新町橋西側商店街

③-2



西新町1丁目商店街

出典:ゼンリン住宅地図、
徳島市中心市街地商店街マップ

1. 都市機能集積による都市のにぎわい創出

③ 商業機能

現況まとめ

徳島市	<ul style="list-style-type: none">商業施設数は長期的に減少傾向にあり、小売販売額も近年は減少傾向大規模集客施設が進出するなど、郊外部等に商業機能が進出し、大型店舗の中でも特に食品スーパーや専門店が増加傾向
中心市街地 駅周辺	<ul style="list-style-type: none">小売販売額、売り場面積ともに大きく減少(特に小売販売額の減少率が大きい)駅周辺の大型小売店は百貨店と寄合百貨店のみ駅周辺に複数の商店街はあるものの、空き店舗が目立つ

- ✓ 全市的に事業所数や販売額は、明石海峡大橋の開通に前後して減少傾向にあり、郊外部への大型店舗の出店も見受けられる
- ✓ さらに、近年の大規模集客施設の開業、駅周辺での相当数の空き店舗の発生など、駅周辺の商業を取り巻く環境は極めて厳しい
- ✓ このままでは、駅周辺の商業機能の集積低下により、駅周辺での日常の買物利便性が低下する懸念がある

方向性

- ✓ 現在の商業集積を維持しつつ、居住者向けの商業機能や、観光客(インバウンド含む)向けの商業機能を誘導する。

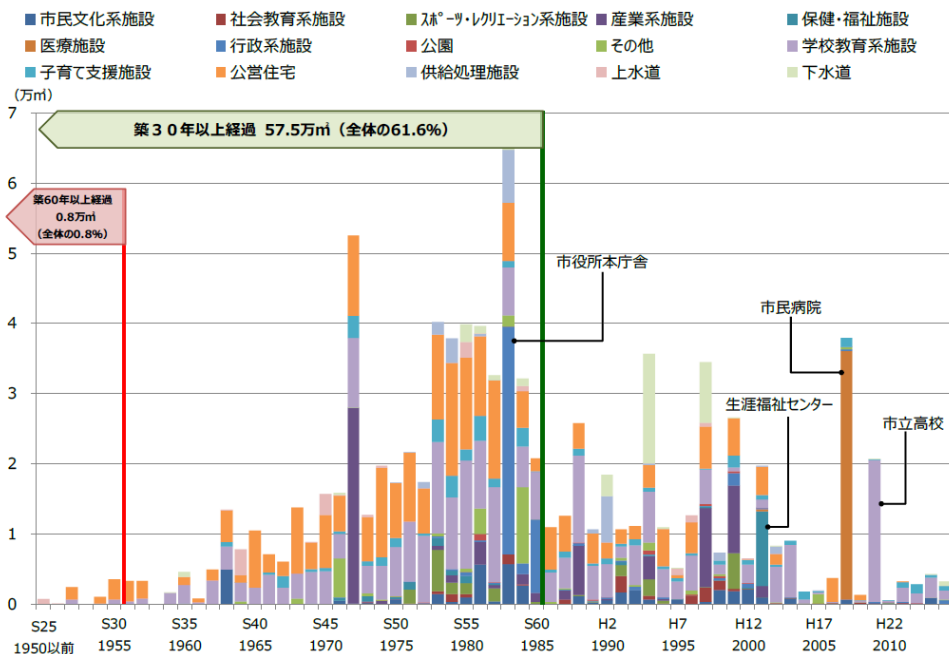
1. 都市機能集積による都市のにぎわい創出

④文化・スポーツ・レクリエーション機能

【文化・スポーツ・レクリエーション施設の状況(徳島市)】

- 徳島市が整備した文化・スポーツ・レクリエーション施設の半数以上が築後30年を迎えており、大規模修繕や建替え等の検討時期が近づいてきている。
- 公共施設等総合管理計画を策定し、効率的な公共施設の運営を目指している。

■徳島市の公共施設の状況



	築30年以上の延床面積	築30年以上の割合
市民文化系施設 (コミュニティセンター、公民館等)	23,837㎡	58.7%
スポーツ・レクリエーション系施設 (競技場、体育館等)	13,218㎡	57.2%

出典：徳島市公共施設等総合管理計画

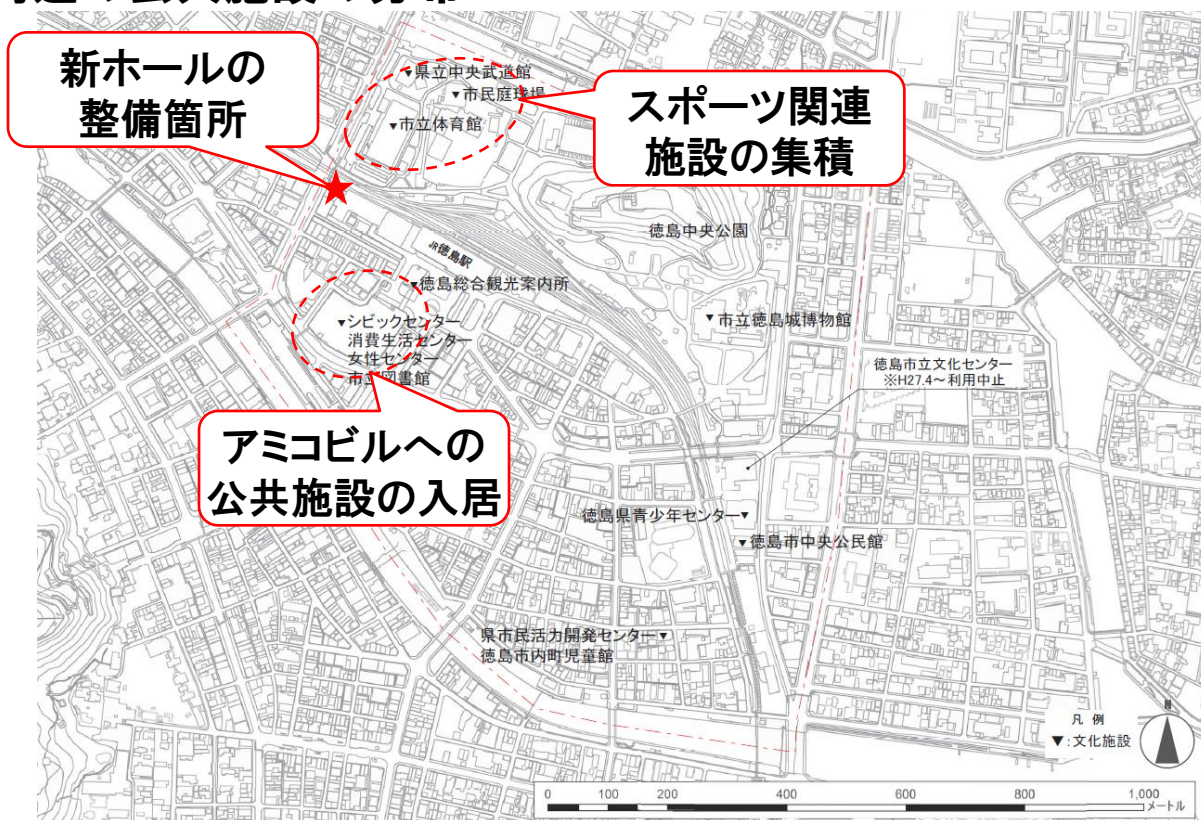
1. 都市機能集積による都市のにぎわい創出

④文化・スポーツ・レクリエーション機能

【文化施設の立地状況(駅周辺)】

- 駅前再開発ビルに図書館等が入居している上、駅西側駐車場に新ホールを整備予定であり、さらなる機能集積が期待できる。
- 駅北側には体育館や武道館、テニス場等のスポーツ関連施設が集積しているが、いずれも老朽化が進んでいる。

■駅周辺の公共施設の分布



【築30年以上の主要施設】

スポーツ施設

- ・徳島県立中央武道館 (昭和63年)
- ・徳島市民庭球場 (昭和46年)
- ・徳島市立体育館 (昭和53年)

文化施設

- ・アミコビル (昭和58年)
- ・徳島市中央公民館 (昭和56年)

出典:ゼンリン住宅地図

1. 都市機能集積による都市のにぎわい創出

④文化・スポーツ・レクリエーション機能

現況まとめ

徳島市	<ul style="list-style-type: none">文化施設やスポーツ・レクリエーション施設の半数以上は築30年を超えており、大規模修繕等の必要性が高まりつつある
中心市街地 駅周辺	<ul style="list-style-type: none">図書館やシビックセンターが駅前アミコビルに入居しており、加えて新ホール(既存施設の移転)を整備予定駅北側に、市立体育館や中央武道館、テニスコート等が集積いずれの施設も整備時期が古く、老朽化に伴う機能の陳腐化が懸念される

- ✓ 駅西側駐車場に、新ホールの整備を進めており、駅周辺のにぎわい創出が期待される
- ✓ 駅周辺に集積している関連施設はいずれも整備後30年以上経過しており、大規模改修や更新の時期が近づきつつある

方向性

- ✓ より多くの集客を目指して、新ホールと周辺施設との連携等により、駅周辺のにぎわいを面的に広げる
- ✓ 全市的な公共施設との統廃合も視野に、施設が有する機能を維持・更新・強化し、多くの人を吸引していく

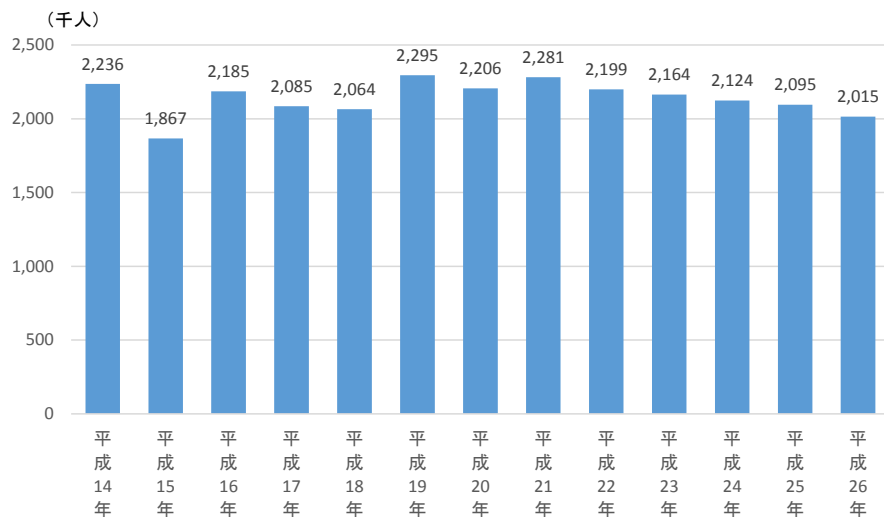
1. 都市機能集積による都市のにぎわい創出

⑤ 観光関連機能

【観光入込客数、観光目的地の推移(徳島市全体)】

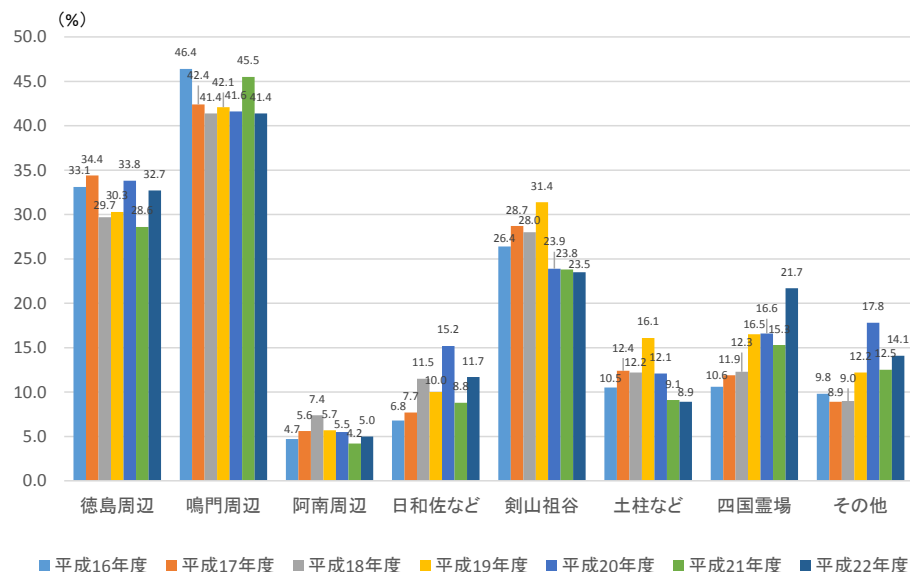
- 観光入り込み客数は平成19年をピークに微減に転じている。
- 徳島周辺は鳴門周辺について県内で2番目の観光目的地となっている。

■観光入り込み客数の推移



出典: 徳島市統計年報

■徳島県内の観光目的地割合



出典: 徳島県観光動態調査

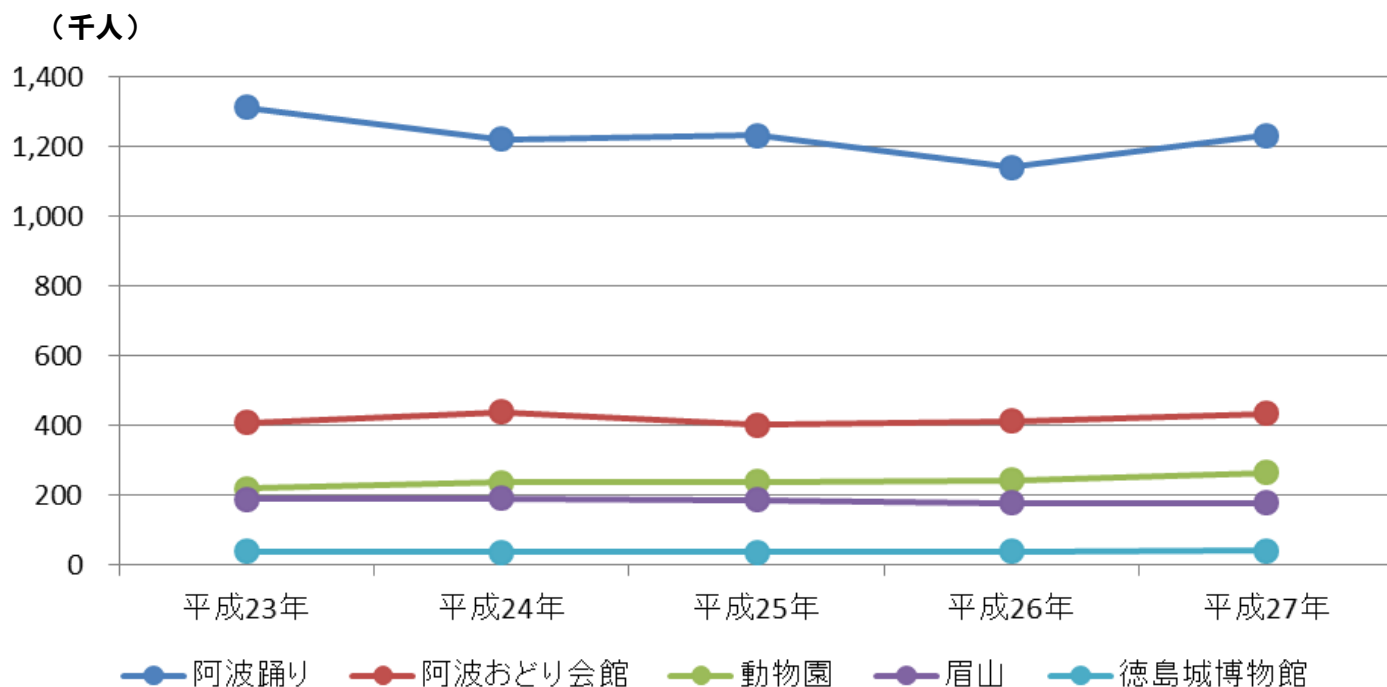
1. 都市機能集積による都市のにぎわい創出

⑤ 観光関連機能

【観光施設別入込客数の推移(徳島市全体)】

- 市内で、阿波踊りが最大の集客となっており、年間約120万人の観光客を受け入れているが、阿波踊りは数日間の開催である。
- 阿波踊りに次いで、阿波おどり会館の集客が多く、年間40万人以上の観光客を継続的に受け入れている。

■観光資源別入れ込み客数の推移



出典：徳島市統計年報

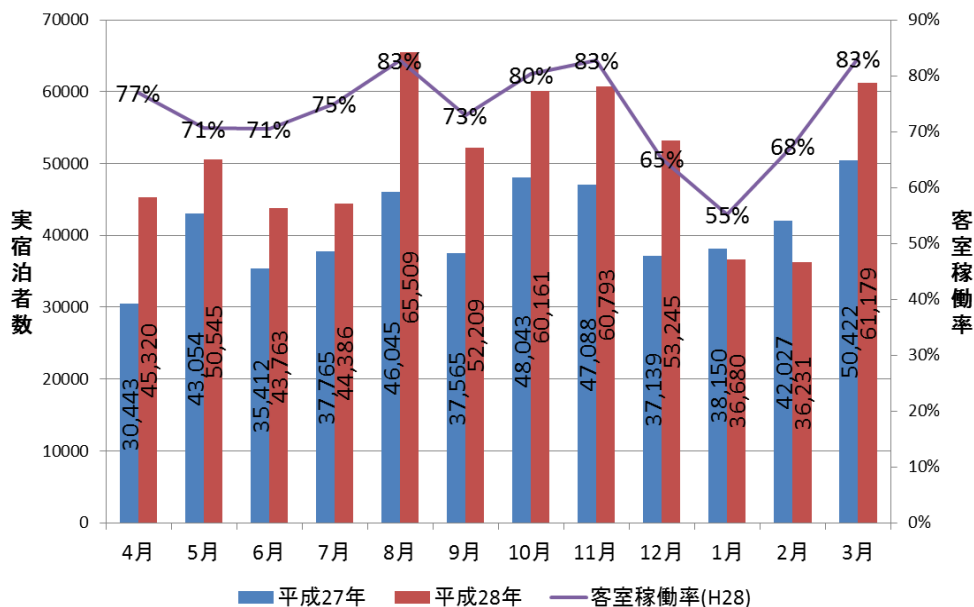
1. 都市機能集積による都市のにぎわい創出

⑤ 観光関連機能

【宿泊者数の推移(徳島市)】

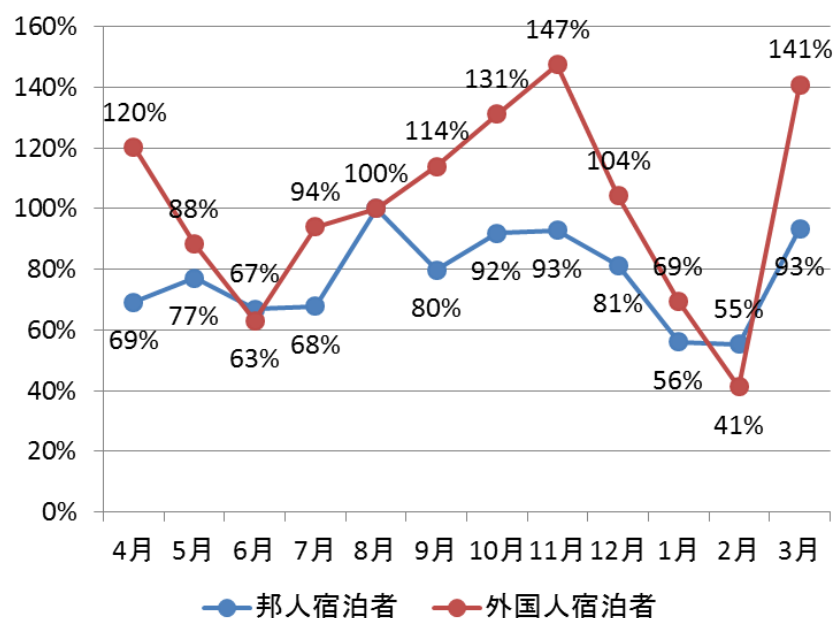
- 徳島市の月別の宿泊者数は阿波踊りが開催される8月がピークとなっているが、秋なども宿泊者数が多く、冬季以外は一定の宿泊客が存在している。
- 外国人宿泊者数は8月ではなく、春や秋にピークを迎えており、阿波踊り時期に十分な受け入れができていない。

■ 月別宿泊者数 (平成27・28年度)



■ 月別宿泊者数の指数 (平成28年度)

※8月を100%として算出



出典: 観光庁宿泊旅行統計調査

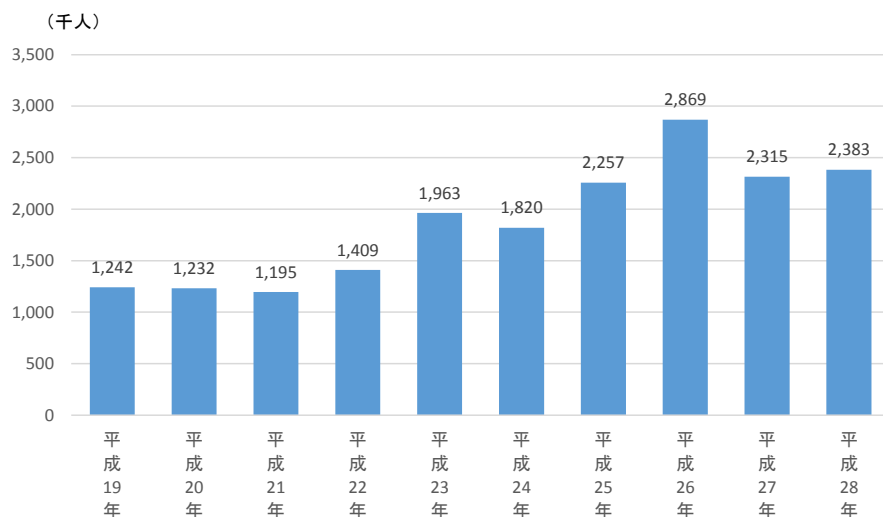
1. 都市機能集積による都市のにぎわい創出

⑤ 観光関連機能

【宿泊者数の推移(徳島県全体)】

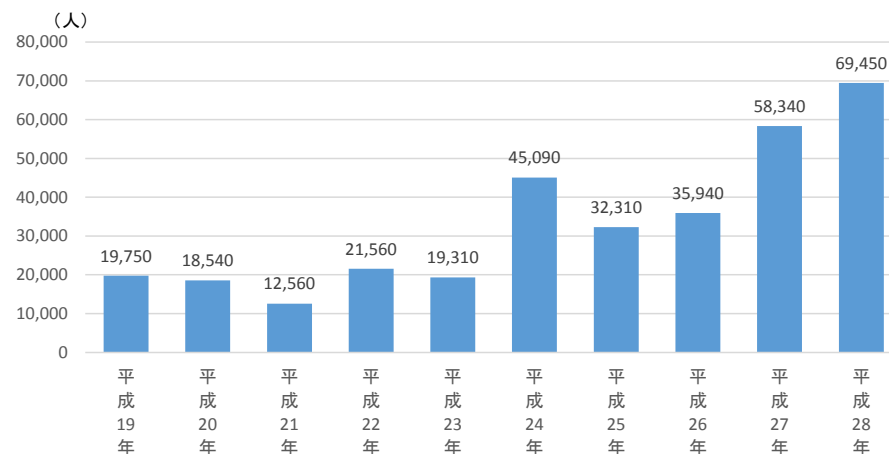
- 徳島県内の宿泊者数は長期的に増加傾向にあり、この10年で約2倍となっている。
- 特に外国人宿泊者数の増加が顕著であり、この10年で約3倍となっている。

■ 宿泊者数（総数）の推移



出典: 宿泊旅行統計

■ 宿泊者（外国人）数の推移



出典: 宿泊旅行統計

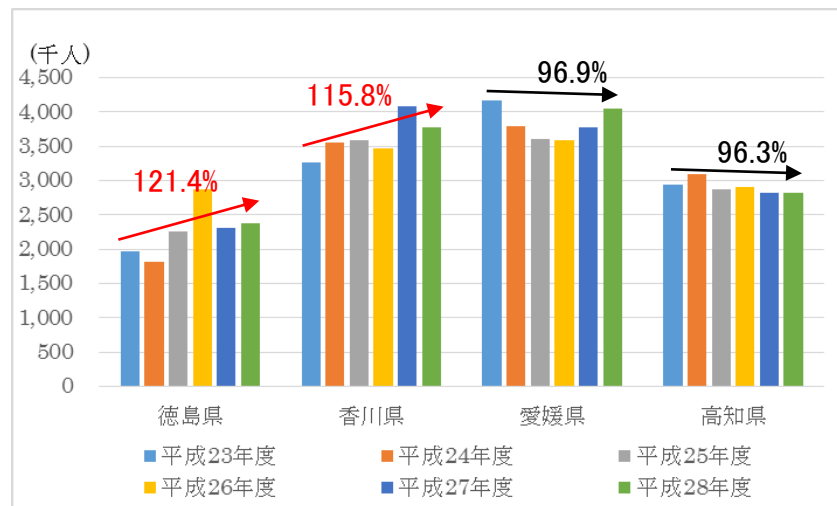
1. 都市機能集積による都市のにぎわい創出

⑤ 観光関連機能

【宿泊者数 推移の四国四県の比較】

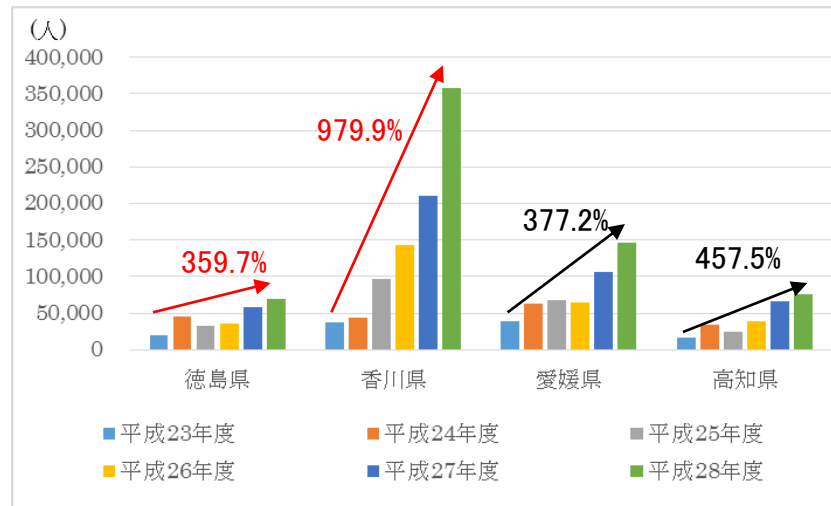
- 四国4県の宿泊者数(総数)を見ると、徳島県は他の3県に比べると少ないが、5年変化率は四国内で最も高く、宿泊者数の伸びが著しい。
- 宿泊者数(総数)の推移を見ると、徳島県と香川県が増加傾向にあるが、外国人宿泊者数の伸びは大きな差が生じている。
- 香川県の外国人宿泊者数の増加率が極めて顕著であり、この要因としては、瀬戸内国際芸術祭や食文化による影響も大きいと推察される。(出典:産経ニュース)

■ 宿泊者数(総数)の推移



出典:宿泊旅行統計

■ 宿泊者(外国人)数の推移



出典:宿泊旅行統計

1. 都市機能集積による都市のにぎわい創出

⑤ 観光関連機能（参考資料）

■ 四国の観光客0.9%減1245万人 香川のみ増加（2014年度記事）

	客数(万人)	増減率(%)
徳島県	305	-3.5
香川県	433	0.9
愛媛県	352	-0.6
高知県	153	-1.9

- ・「瀬戸内国際芸術祭2013が開かれた影響で香川のみが増加。」
- ・「徳島の落ち込みは、利用が多かった関西方面の観光客が伊勢神宮や出雲大社に流れた影響が大きい。」

（伊勢神宮：2014年「式年遷宮1周年」⇒ご利益の増す「おかげ年」）

出典：産経ニュース(2014.7.18)

■ 「うどん県。それだけじゃない香川県」プロジェクト

- ・ インパクトのある映像を活用した情報発信
- ・ 「瀬戸内国際芸術祭」、「うどん県・時間旅行物語」等全国に向けて香川の話題を途切れることなく発信

観光客誘致

出典：香川県 県の仕事プロジェクト編

■ 直島における瀬戸内国際芸術祭の来場者の状況

- ・ 「2010年の入込客数は同年7月から10月に開催された瀬戸内国際芸術祭の影響もあり、前年比の180%増」
- ・ 「約2～3割が外国人旅行者」

出典：日本交通公社

Vol.8 世界が注目する“徹底的にアート”な島(香川県直島町)

1. 都市機能集積による都市のにぎわい創出

⑤ 観光関連機能

現況まとめ

徳島市	<ul style="list-style-type: none">徳島市の観光入れ込み客数は横ばいで推移阿波踊りの集客が著しく、宿泊者数も8月がもっと多い宿泊施設の稼働率は8月にピークを迎える外国人宿泊者数のピークは春及び秋にある宿泊客数は増加傾向だが、外国人宿泊客の伸びは四国で下位
中心市街地 駅周辺	<ul style="list-style-type: none">ホテルは複数立地しており、近年にも新規開業がある駅前広場内の観光案内所が有効活用されていない

- ✓ 徳島市の最大の集客資源は阿波踊りであり、宿泊者数もその時期が最大となるが、外国人宿泊者数は別にピークを迎えており、阿波踊りにインバウンド観光を呼び込めていない懸念がある

方向性

- ✓ 広域的交通ネットワーク強化や年間を通じた観光資源の整備により、国内外・県内外からの観光客を呼び込むとともに、ニーズに沿った多彩な観光情報を提供し、多言語に対応した新たな観光案内所等を整備する。
(広域的な連携により、香川県にて急増している外国人旅行者を徳島にも呼び込み、賑わい創出に繋げることも重要な観点)

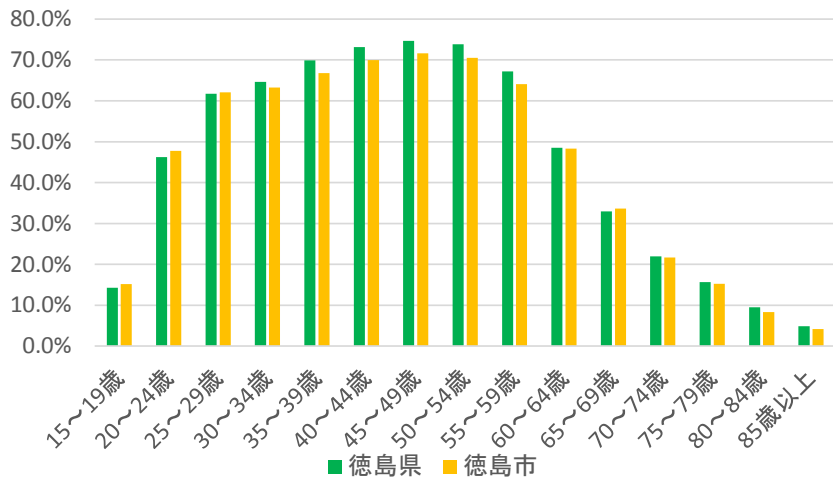
1. 都市機能集積による都市のにぎわい創出

⑥教育・子育て関連機能

【共働き世帯・待機児童の発生(徳島市全体)】

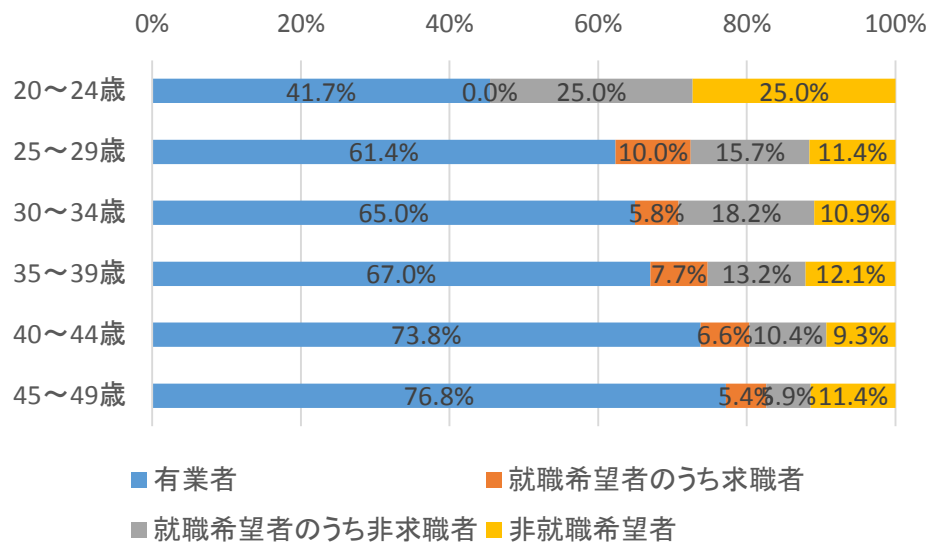
- 徳島市は、既婚女性のうち、30代～50代の就業率が徳島県平均に対してやや低い。
- 徳島県の既婚女性の就業状態は、年齢が上がるにつれ有業者が増加する傾向にあり、主に子育て世代にあたる世代からも、求職者が確認できる。

■既婚女性の就業率（平成27年）



出典：国勢調査

■既婚女性の就業状況



出典：平成24年就業構造基本調査

1. 都市機能集積による都市のにぎわい創出

⑥教育・子育て関連機能

【待機児童の発生(徳島市全体)】

- 徳島市における待機児童数は、0歳を中心に発生しており、県内でも最も多い。

■徳島県内の待機児童数(2016年10月現在)

	0歳	1歳	2歳	3歳	計
徳島市	54	19	0	1	74
小松島市	0	6	0	0	6
阿南市	19	5	1	0	25
吉野川市	15	0	0	0	15
阿波市	3	1	0	0	4
美馬市	4	4	0	0	8

出典:徳島新聞2017/4/7

1. 都市機能集積による都市のにぎわい創出

⑥教育・子育て関連機能

【教育・子育て関連施設(駅周辺)】

- 駅に隣接して小学校が立地している。保育関連施設も駅周辺に複数立地しているが、認定こども園・病児保育実施事業所はない。

■駅周辺の教育・子育て関連施設の分布



出典:ゼンリン住宅地図、各社ウェブサイト

1. 都市機能集積による都市のにぎわい創出

⑥教育・子育て関連機能

現況まとめ

徳島市	<ul style="list-style-type: none">徳島市では、既婚女性の就業率がやや低い徳島県の既婚女性の中に一定数の求職者がいる徳島県内で、最も多く待機児童が発生している
中心市街地 駅周辺	<ul style="list-style-type: none">保育所は駅周辺に複数設置されているが、いずれも病児保育に対応しておらず、認定こども園ではない

- ✓ 徳島県内の既婚女性の中に求職者も存在しており、県平均に比べて既婚女性の就業率が低い徳島市は、保育へのニーズが高いと推察される
- ✓ 加えて、市内では徳島県内で最大の待機児童数を抱えるなど、その施設容量は現時点で不足していると捉えられる

方向性

- ✓ 小学校が駅に隣接しているなど、子育て世代を受け入れる素地を有している。子育て関連施設については、利用者の日常生活圏や交通利便性を考慮した配置が重要であることから、本市の地域ごとのニーズ量などをもとに適切な施設配置や量の拡大、並びに質の向上を図る。

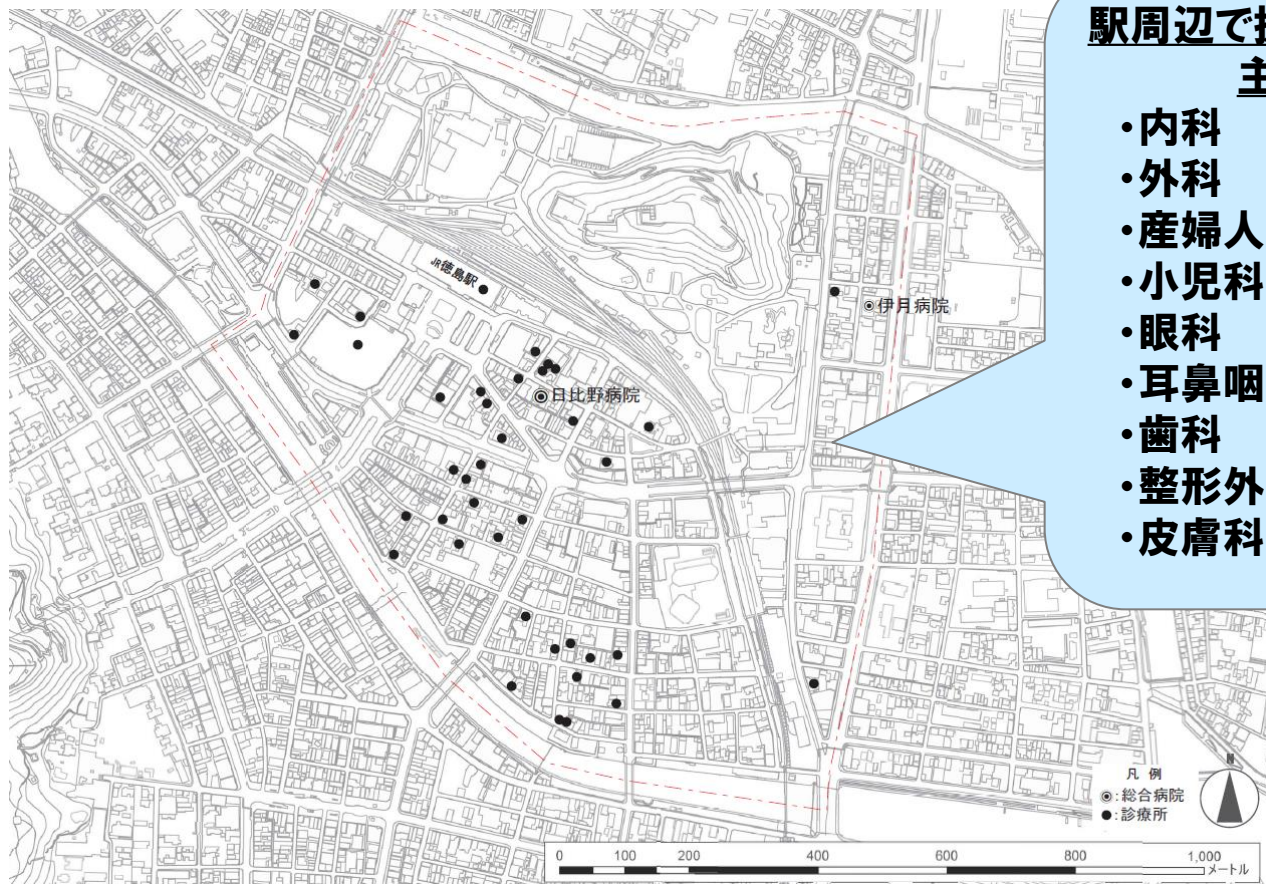
1. 都市機能集積による都市のにぎわい創出

⑦医療・福祉機能

【医療施設(駅周辺)】

- 駅周辺には複数の総合病院が立地しており、小規模な診療所も含めると相当数の機能が集積しており、広範囲の診療科(内科・外科・産婦人科・小児科等)をカバーしている。

■ 駅周辺の医療施設の分布



駅周辺で提供される 主要な診療科

- 内科
- 外科
- 産婦人科
- 小児科
- 眼科
- 耳鼻咽喉科
- 歯科
- 整形外科
- 皮膚科 等

1. 都市機能集積による都市のにぎわい創出

⑦医療・福祉機能

【福祉施設(駅周辺)】

●駅周辺にはデイサービスを中心とした様々な福祉施設が集積してる。

■駅周辺の医療施設の分布



出典:ゼンリン住宅地図、各社ウェブサイト

1. 都市機能集積による都市のにぎわい創出

⑦医療・福祉機能

中心市街地 駅周辺

- ・ 駅周辺には総合病院をはじめ、様々な医療施設が集積している
- ・ 診療科も多岐に及び、主要な診療科は概ね駅周辺で揃っている
- ・ 福祉施設もデイケアセンターを中心に複数立地している

現況まとめ

- ✓ 高齢化の進行に伴い、ニーズが高まると捉えられる医療・福祉機能であるが、医療施設については、駅周辺に複数立地しており、診療科目数も多い
- ✓ 福祉施設についても複数立地しており、自動車による送迎を行っている施設も存在する

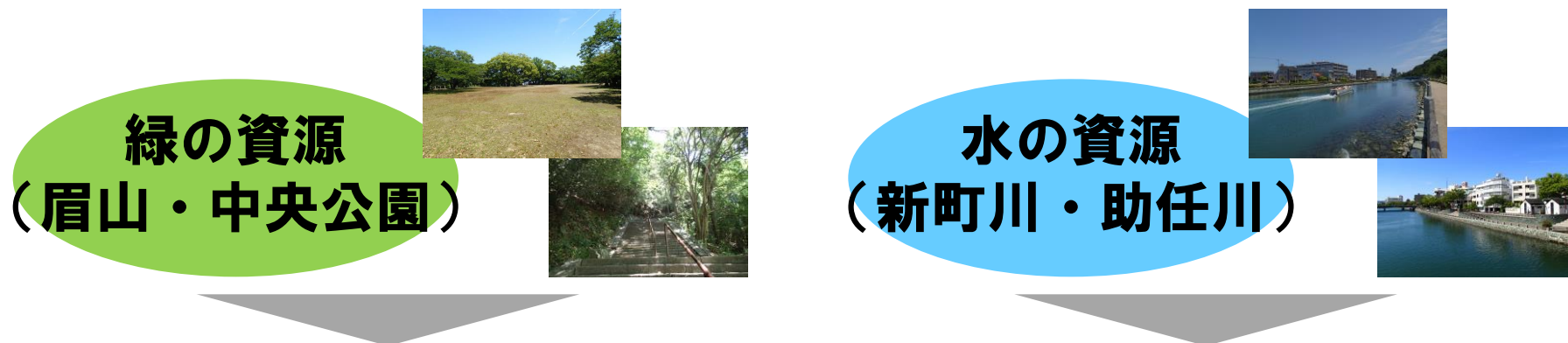
方向性

- ✓ 医療施設については産婦人科や小児科も駅周辺に既に立地しており、現時点で、積極的に医療機能を強化していく必要性は低いと捉えられる
- ✓ 福祉施設についても複数立地しているものの、自動車による送迎を行っている施設が多く、にぎわい創出とも関連性が低いと捉えられることから、駅周辺での機能誘導は行わない

2. 魅力ある公共空間の創出

2. 魅力ある公共空間の創出

徳島駅周辺の公共空間の魅力化の方向



STEP
1

- ・ 地域資源の機能そのものをどのように磨くか？
(資源そのものの機能強化)

STEP
2

- ・ 地域資源をどのように見せるか？
(資源を身近に感じるための景観形成)

STEP
3

- ・ 地域資源にどのように人を誘うか？
(資源へのアクセス性強化)

2. 魅力ある公共空間の創出

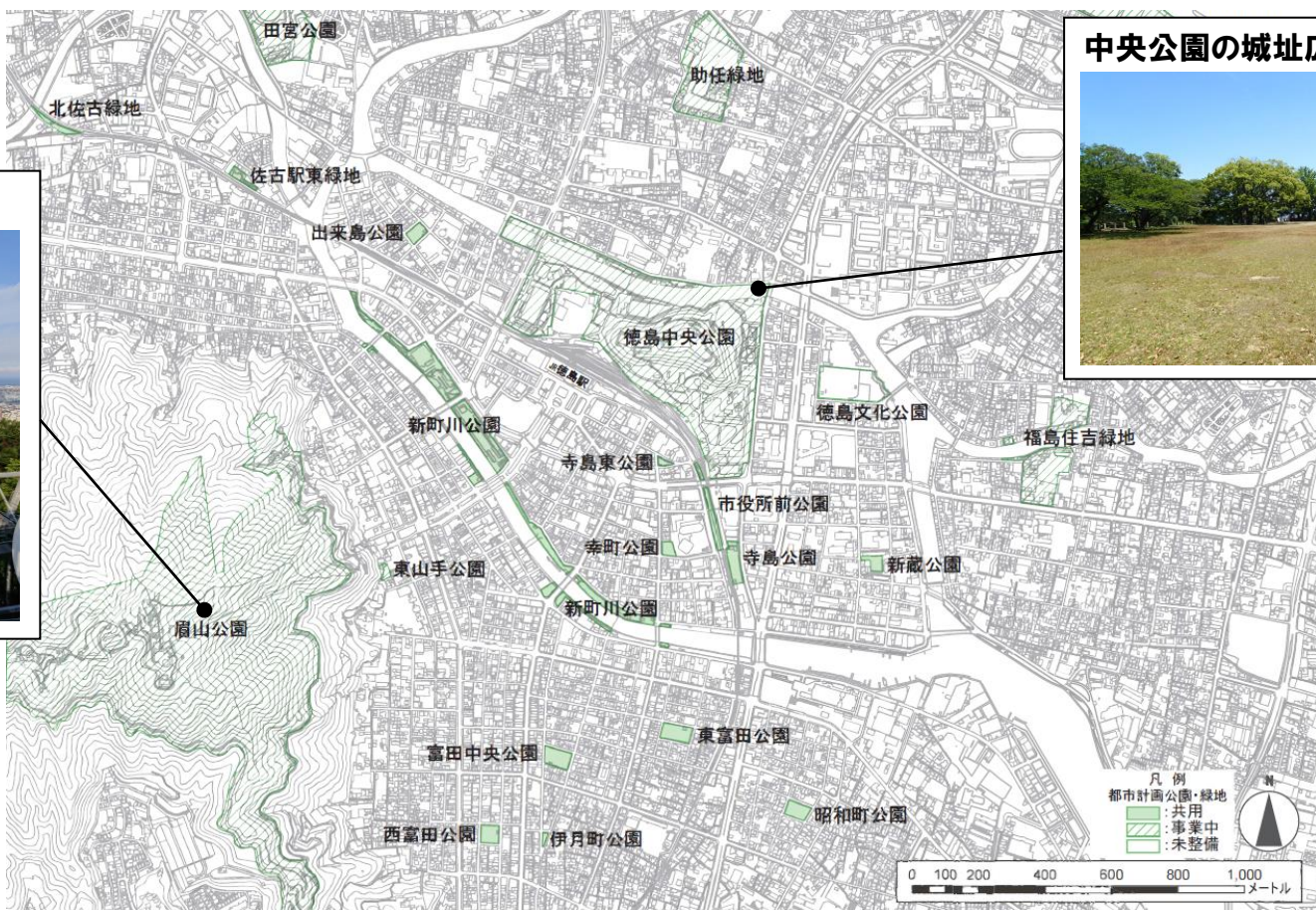
活かすべき地域資源

【緑の資源(駅周辺)】

- 眉山、中央公園といった拠点的緑が、駅に近接している点が徳島駅の大きな特徴。

■駅周辺の公園・広場の分布

眉山からの眺望



出典: 都市計画基礎調査

2. 魅力ある公共空間の創出

眉山の有効活用

現状

資源への眺望

- ・駅周辺に眉山の視点場がなく、景観阻害要素も多い。



資源へのアクセス

- ・駅から700m程度離れており、横断歩道橋を通過する必要がある等、歩行者にとって良好なアクセス性は確保されていない。

活用の方向性(案)

STEP 1

【資源そのものの機能強化】

- ・年間を通じた各種イベントの開催
(まち歩きでの寺町の歴史散策等)

STEP 2

【資源を身近に感じるための景観形成】

- ・駅周辺での視点場の確保、視点場からの眺望を確保する景観誘導
(街路樹、横断歩道橋、ファサード等の改善)

STEP 3

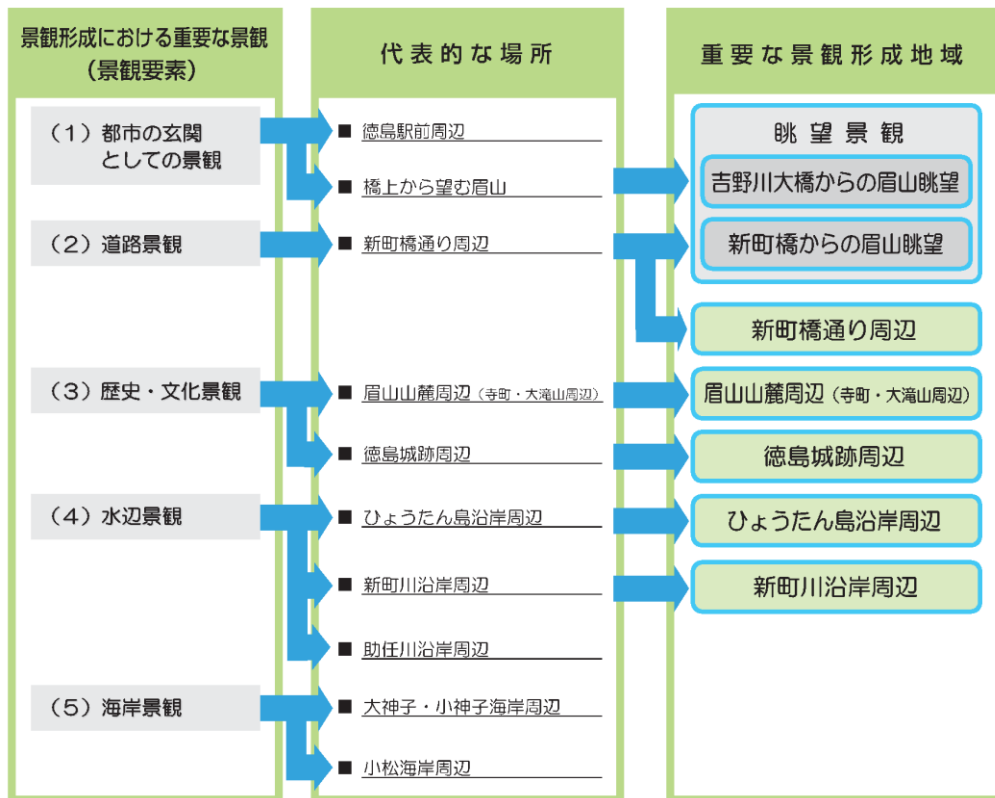
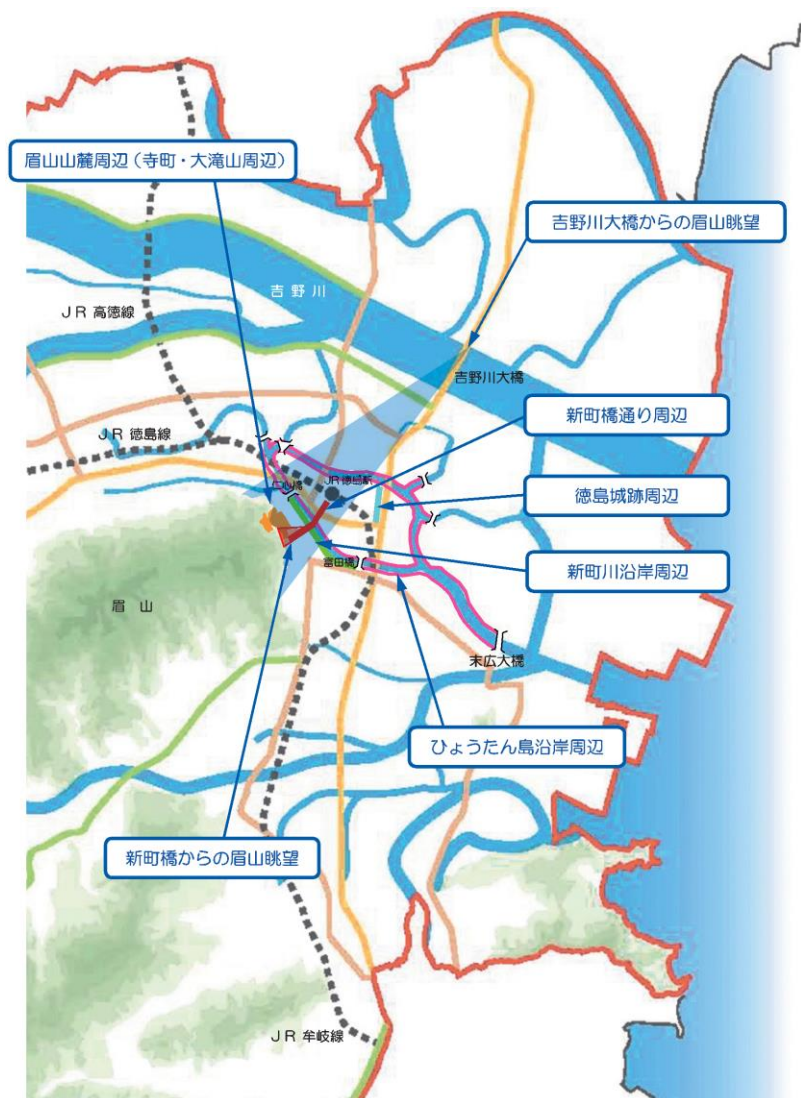
【資源へのアクセス性強化】

- ・シンボルゾーン(駅前広場・駅前通りなど)における歩行者動線の整備
- ・新しい回遊手段(コミュニティサイクル等)の確保

2. 魅力ある公共空間の創出

眉山の有効活用（参考資料）

■景観計画における地域資源の取り扱い



出典：徳島市景観計画

2. 魅力ある公共空間の創出

中央公園の有効活用

現状

資源の状況

- ・公園内に複数のスポーツ施設を有しており、歴史性とレクリエーション性を有する。
- ・歴史性の点では、当時の様子を知る資源が多く残されていない。

資源へのアクセス

- ・鉄道及び車両基地が分断要素となっており、駅との繋がりが希薄。



活用の方向性(案)

STEP 1

【資源そのものの機能強化】

- ・鉄道車両基地跡地を活用した機能強化
- ・スポーツ施設と連携した健康関連機能導入
- ・寺島川の復元

STEP 2

【資源を身近に感じるための景観形成】

- ・駅周辺での視点場の確保
- ・視点場からの眺望を確保する景観誘導

STEP 3

【資源へのアクセス性強化】

- ・連続立体交差事業による動線整備
(駅北口開設、北口への交流広場整備)
- ・新しい回遊手段(コミュニティサイクル等)の確保

2. 魅力ある公共空間の創出

新町川・助任川の有効活用

現状

資源の状況

・プロムナードや公園が整備されているが、空間的に連続していない箇所がある。

資源へのアクセス

・クルーズ船乗り場が駅から離れているため、有効活用できていない点がある。



活用の方向性(案)

STEP 1

【資源そのものの機能強化】

・プロムナードの連続的整備

STEP 2

【資源を身近に感じるための景観形成】

・駅周辺での水を感じられる空間整備

STEP 3

【資源へのアクセス性強化】

- ・ シンボルゾーン(駅前広場・駅前通りなど)における歩行者動線整備
- ・ ひょうたん島クルーズ船乗り場や、検討中の川の駅ネットワーク構想に掲げる川の駅・停留所の整備

3. 駅周辺へのアクセス性・回遊性の高いモビリティ

3. 駅周辺へのアクセス性・回遊性の高いモビリティ

◆徳島都市交通体系（上位計画）

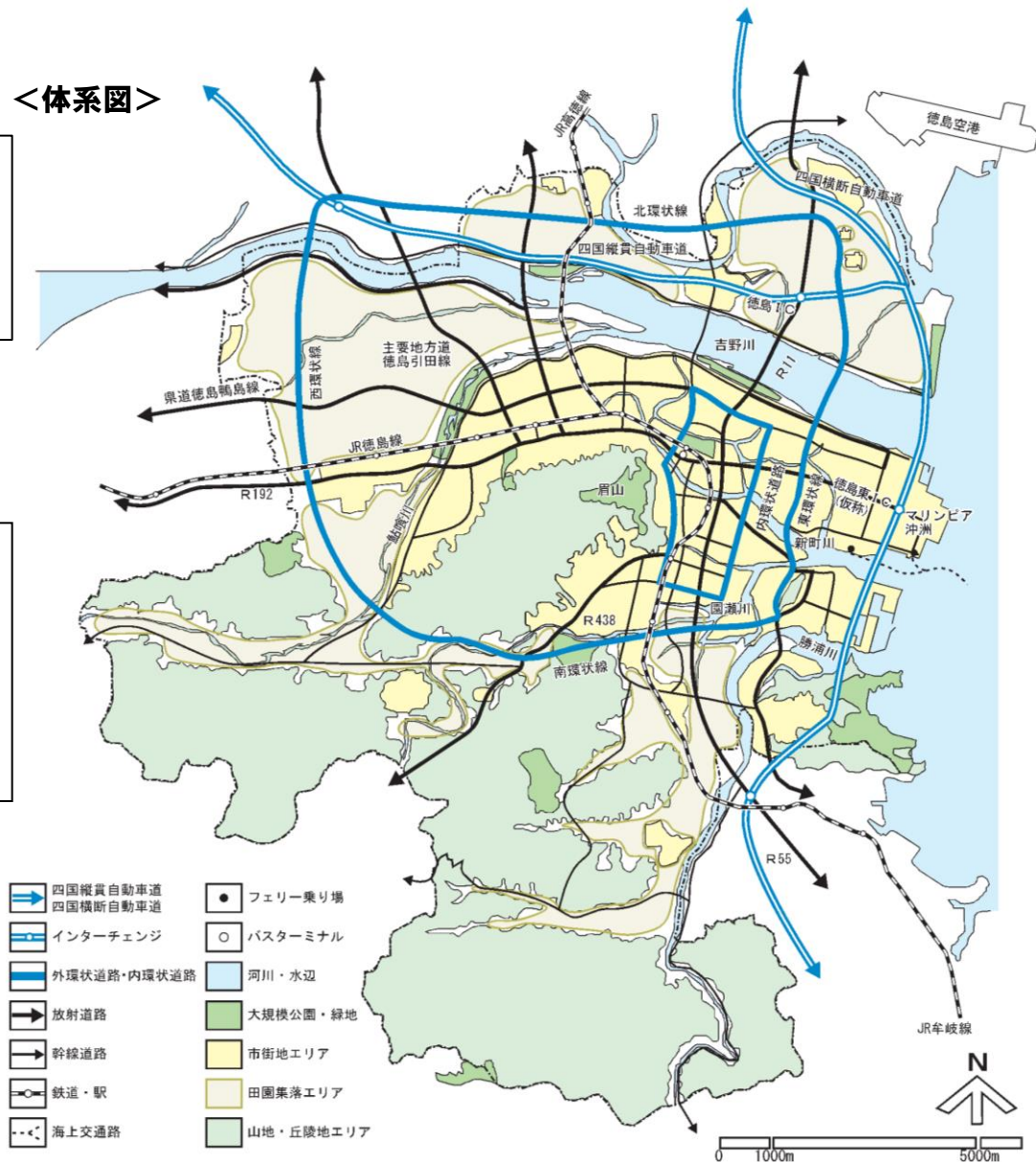
<基本的な考え方(一部抜粋・要約)>

- ・陸、海、空の**交通結節点**を有し、市街地周辺の計画的かつ体系的な道路網を形成
- ・**過度に車に依存した移動手段からの脱却**を図り、中心市街地においては自動車交通の抑制に努め、**公共交通や自転車等の利用を促進**

<内町・新町・東富田・西富田地域のまちづくり構想交通体系の方針(一部抜粋・要約)>

- ・環状道路の整備を推進し、国道11号、国道55号、国道192号、国道438号の**渋滞解消**や昭和町大道線を整備
- ・JR高徳線、牟岐線の**鉄道高架及び側道整備を推進**
- ・都心部での人の移動をスムーズに行うため、ユニバーサルデザインによる**道路整備**や**既存の道路空間の再配分による自転車・歩行者空間の確保を推進**

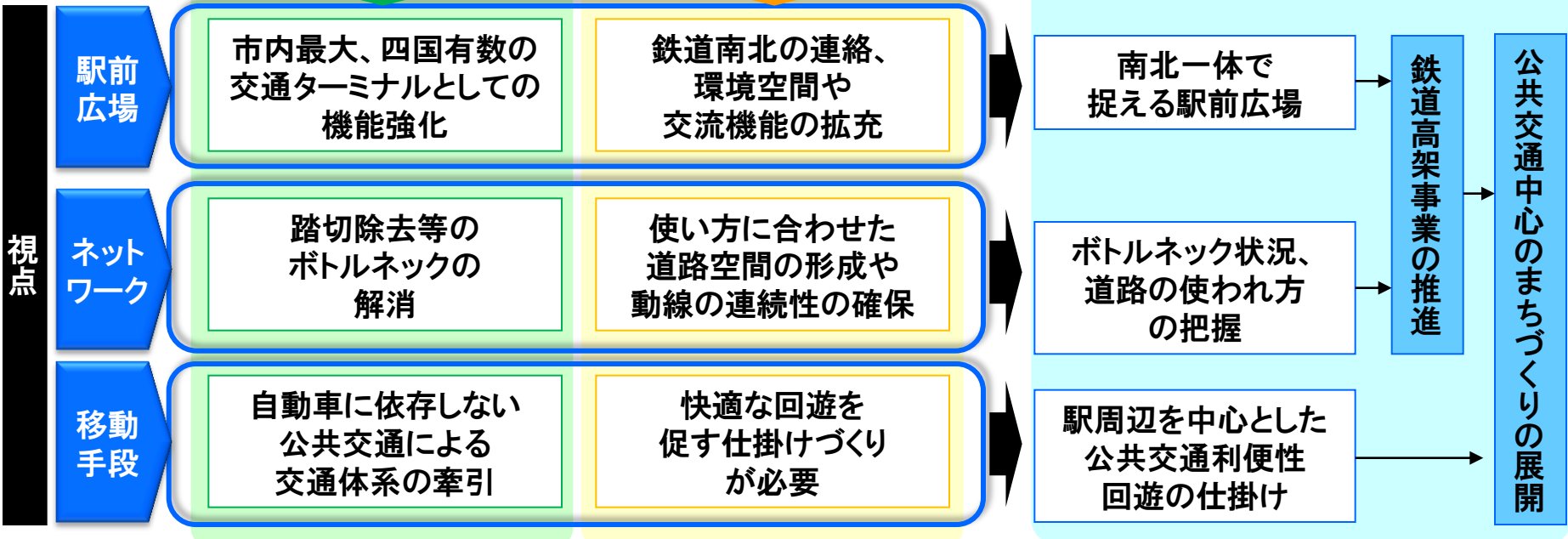
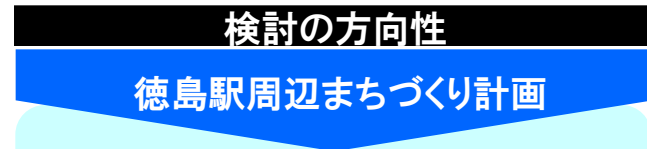
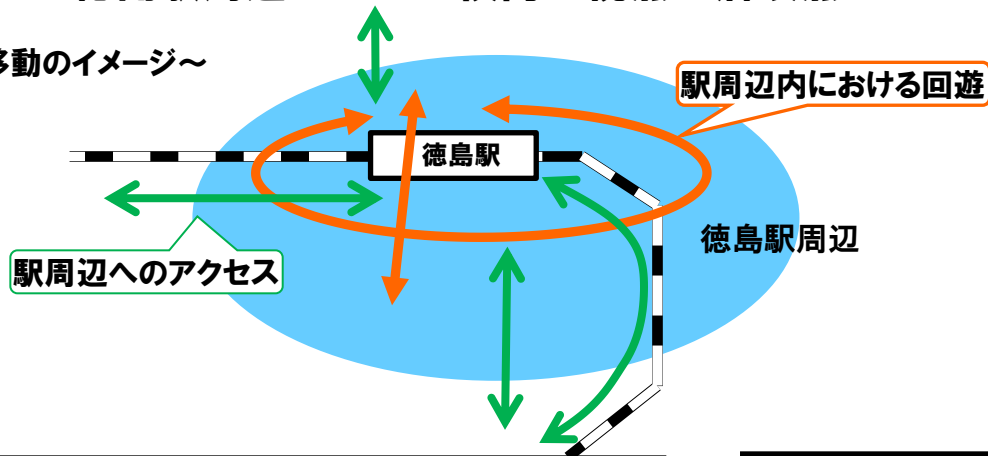
<体系図>



3. 駅周辺へのアクセス性・回遊性の高いモビリティ

◆都市交通体系を踏まえた徳島駅周辺における検討の視点と着眼点

～徳島駅周辺における移動のイメージ～

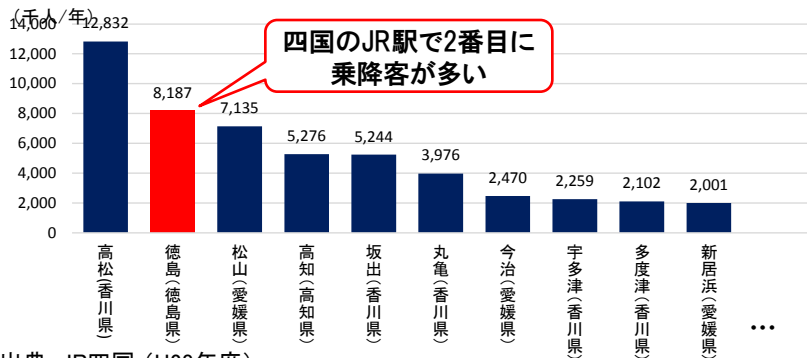


3. 駅周辺へのアクセシビリティ・回遊性の高いモビリティ

市内最大、四国有数の交通ターミナルとしての機能強化

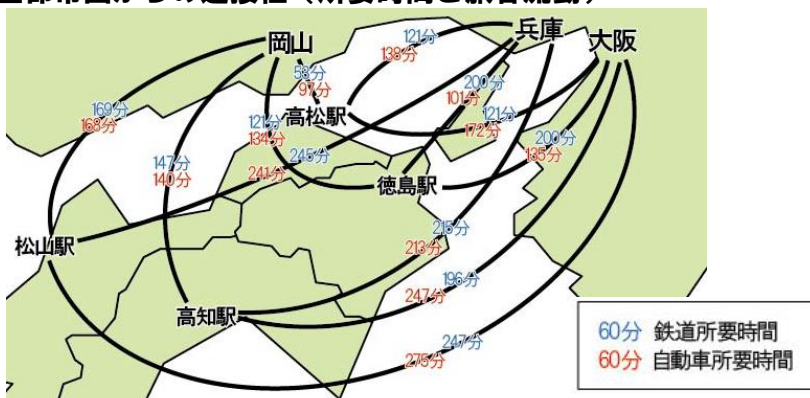
- 徳島駅は、四国のJR駅で第2位の乗車人員を有する駅であり、特に近畿圏とのつながりが大きい。
- 徳島市及びその周辺市町村にとっても重要な交流・交通結節機能を担っている。

■JR四国 駅乗車人員ベスト10



出典: JR四国 (H28年度)

■都市圏からの近接性 (所要時間と旅客流動)



旅客数: 徳島・香川→全国 (人/日) 旅客数: 徳島・香川←全国 (人/日)

	香川	兵庫	高知	愛媛	大阪
徳島	9,418	3,622	2,587	2,120	1,915

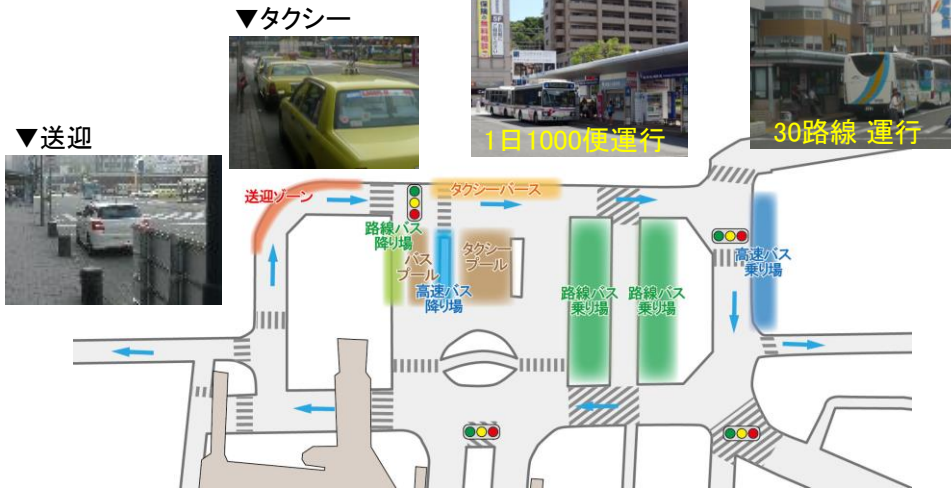
	香川	兵庫	高知	大阪	愛媛
徳島	9,628	3,765	2,141	2,044	1,815

	徳島	愛媛	岡山	高知	大阪
香川	9,628	9,116	6,583	2,565	1,987

	徳島	愛媛	岡山	高知	兵庫
香川	9,418	9,332	6,432	2,773	1,982

出典: 所要時間; NAVITIME、第5回(2010年)全国幹線旅客純流動調査(秋季平日)

■徳島駅で利用できる交通施設



出典: 便数等 事業所HP、NAVITIME

【今後の調査・検討】

～駅周辺への来訪状況の把握を実態調査～
WEB調査を実施予定、来訪頻度、来訪目的、来訪交通手段等、駅前広場や駅周辺の使い方に着目した検討を実施

3. 駅周辺へのアクセス性・回遊性の高いモビリティ

踏切除去等のボトルネックの解消

- 駅周辺の幹線道路においては、主要渋滞箇所が連坦し、交通量が交通容量を超過している区間や、走行性が低い(20km/h未満)の区間が多数存在する。
- 花畑踏切等、円滑な移動を阻害するボトルネックも存在(花畑踏切遮断状況:1時間あたり約1,000台、40人)

■混雑度



■混雑時旅行速度



混雑度 = 交通量推計の交通量 / 交通容量

■鉄道南北移動の環境

▼踏切遮断時の自動車滞留



▼歩行者踏切移動状況



【今後の調査・検討】

～踏切通行状況の把握～
 既存データもしくは実態調査により、踏切遮断に関する自動車交通量や歩行者交通量を把握し、鉄道高架事業を推進していく検討を実施

混雑度	混雑度の目安	評価判断
～1.00	道路が混雑することなく円滑に走行できる。	問題なしと判断
1.00～1.25	道路が混雑する可能性のある時間帯が1～2時間あるものの、何時間も混雑が連続する可能性は小さい。	
1.25～1.75	ピーク時間帯はもとより、ピーク時間を中心として混雑する時間帯が加速度的に増加する可能性が高い状態。	問題ありと判断
1.75～	慢性的混雑状態。	

出典:道路の交通容量(S59.9 社団法人日本道路協会) ※一部解釈あり

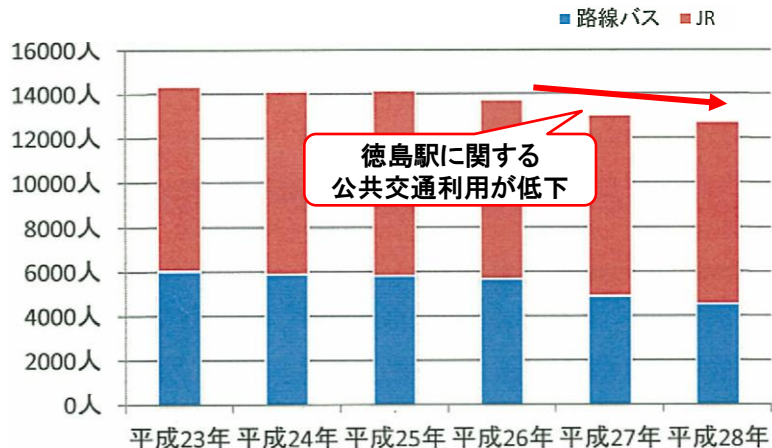
出典:H27道路交通センサス

3. 駅周辺へのアクセス性・回遊性の高いモビリティ

自動車に依存しない公共交通による交通体系の牽引

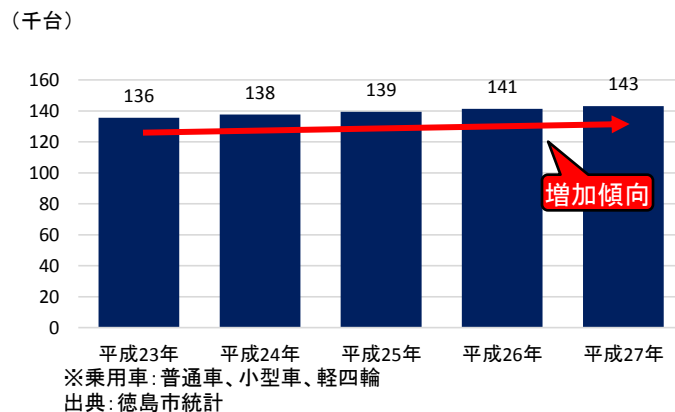
- 徳島駅の平均乗車人員、路線バス利用者数は年々減少傾向にあり、今後、将来的にもJR路線の利用者は減少の見込み。
- 徳島駅は、主に徳島市、徳島県に関連する交通を受け持ち、また、他府県からの交通も受け入れている。
- ただし、徳島市の自動車台数は増加傾向にあり、徳島駅来訪時についても自動車利用に依存している。

■徳島駅、駅前バス乗り場 1日あたり乗車人員

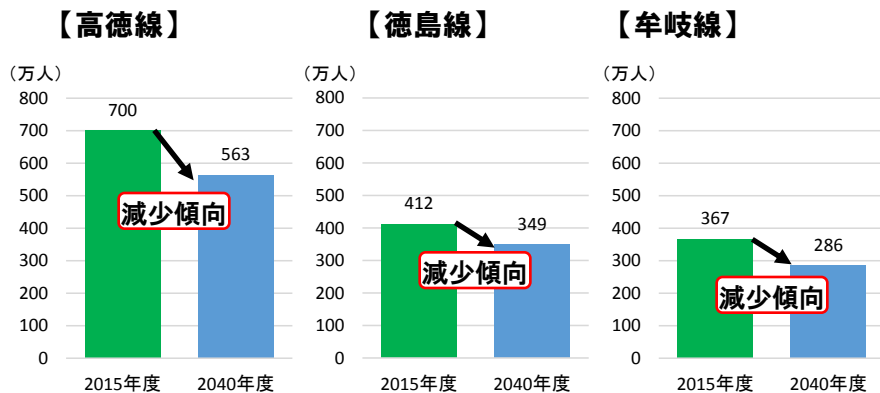


出典：徳島市提供資料

■徳島市の自動車保有台数

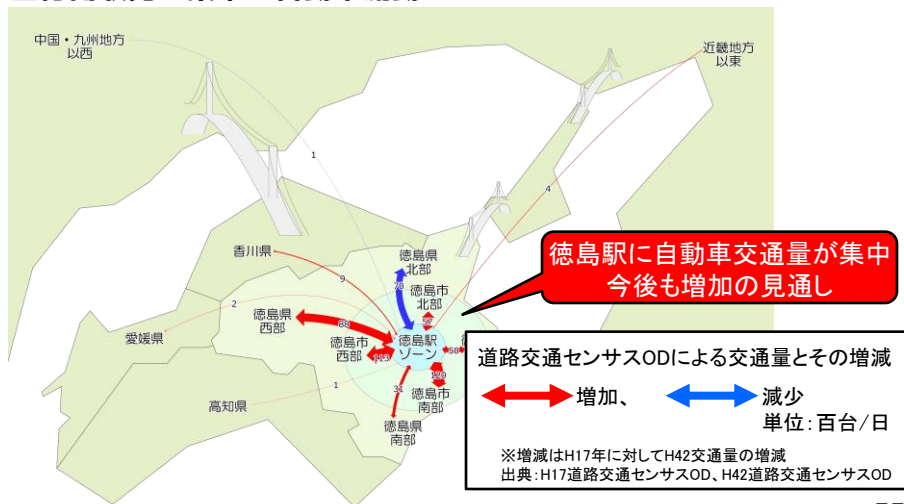


■JR路線の利用者減少見込み



出典：徳島市提供資料

■徳島駅発生集中の自動車流動



3. 駅周辺へのアクセシビリティ・回遊性の高いモビリティ

鉄道南北の連絡、駅内交通処理、環境空間や交流機能の拡充

- 操車場設置の影響もあり、駅周辺では鉄道南北の通行箇所が限定され、公園と駅広とが分断により交流が阻害。
- 駅前広場においては、駅及び周辺施設への移動時に車道横断が頻繁に発生し、一部低水準の通行や滞留環境が生じている。
- 駅前広場においては、複数のロータリー出入り路線の存在により、面的な広がりが感じられない。

駅前広場内の環境



①花畑踏切横断



踏切遮断によって、動線の連続性が確保されていない

②操車場



駅北側を中心として操車場が設置、駅南北間がより隔離されている印象を与える

③歩道橋



歩道橋による鉄道南北は行き来できるものの、段差があるため、自転車は通行不可

駅前広場の交通施設



①環境空間としての活用が望まれる駅正面にバス、タクシーのプールが設置

プールでは利用者は乗降しないため、駅正面としてのスペースが利活用されていない



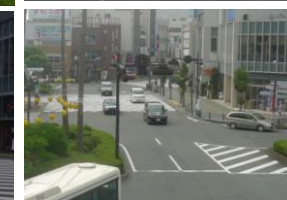
②県道から駅前広場への動線がスムーズでない

路線バスでさえ動線へのはみ出しが発生、動線の交錯の危険性が高い



③一番町の市道から駅前広場への動線がスムーズでない

交差点間の距離が短く、また横断歩道により滞留スペースが十分でない



④信号交差点、横断歩道が複数

広場内に信号交差点が複数設置されているため、横断歩道が複数設置、歩行者と自動車の動線が交錯

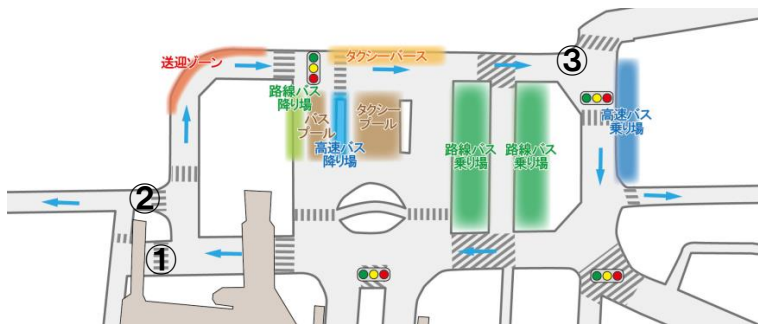


3. 駅周辺へのアクセシビリティ・回遊性の高いモビリティ

使い方に合わせた道路空間の形成や動線の連続性の確保

- 駅前広場ロータリー内には車道が2～3車線あり、車両動線がスムーズでないため、安全性に問題を抱える。
- 徳島停車場線や一番町前の市道においては、交通量あたりの車線や道路幅員が広く、駅前広場への過剰な交通進入を促してしまうため、道路空間を活用した歩道拡張等も検討。

■駅前広場ロータリー内の交通処理



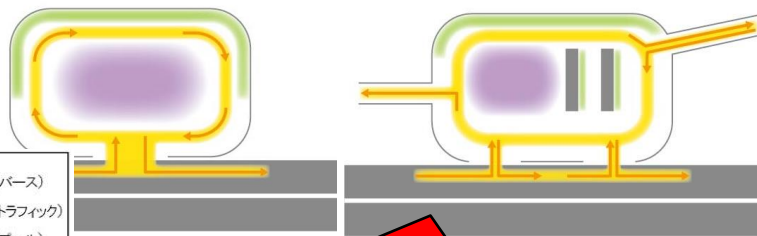
■特徴的な駅前広場の形状

【よくある駅ロータリー】

ロータリーへの流入流出口が一つ
⇒ 歩行者と車両との輻輳箇所が限定的

【徳島駅のロータリー】

ロータリーへの流入流出口が多数
⇒ 歩行者と車両との輻輳



全国の駅前広場のなかでも特徴

■徳島停車場線や一番町前の市道



【徳島停車場線】
交通量に対して車線が多い



【一番町前の市道】
駐車帯の必要性を検討

【今後の調査・検討】

～駅前広場動線、アクセス道路の利用実態把握～
既存データもしくは実態調査により、駅前広場やアクセス道路について、道路の使われ方を把握、使われ方に応じた道路の形状や構造を検討

3. 駅周辺へのアクセシビリティ・回遊性の高いモビリティ

快適な回遊を促す仕掛けづくりが必要

- 徳島駅周辺では、ぐるとくサイクルとして、レンタサイクルが展開し、駅周辺では7箇所にて貸し出している。返却可能な店舗があるものの、路上駐車は依然として発生しており、更なる展開や自転車ネットワークの整備が必要。
- 陸路のみならず川の回遊づくり、シンボルゾーンの活用等、快適な回遊を促す仕掛けづくりを進展させる。

■自転車を使った回遊づくりの仕掛け

▼レンタサイクル(徳島市観光ステーション等、市内中心部7箇所設置)

ぐるとくサイクル
088-655-6133

ぐるとくサイクルはインターネットから予約できます

電動アシスト付き自転車
心おどる水都とくしまを探索しよう!!

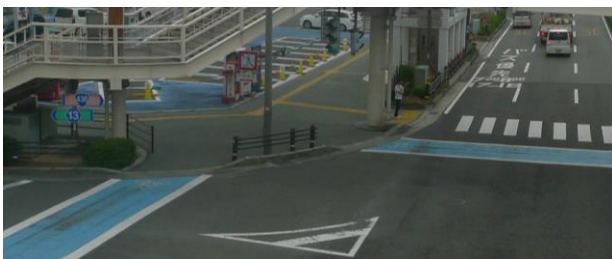
ぐるとくサイクルは 全部で 3タイプ

電動アシスト付き自転車 3タイプ

みんなで行こう!

- 2017年9月30日◎「徳島航空安全直行こう」◎申込締切→9月27日
- 2017年9月17日◎「おつたん徳水 歴史と食味ファンを楽しもう」◎申込締切→9月14日
- 2017年9月10日◎「旅道でカヌーを体験しよう」◎申込締切→9月7日

▼元町交差点の自転車レーン



▼路上駐車状況



■陸路のみならず海路の回遊づくりの仕掛け



ひょうたん島クルーズ

両国橋北詰から、徳島市を囲む新町川・助任川などを周遊する遊覧船が運航。船上から見える風景の中で、水際につくられた公園の豊かさ、水の都・徳島のゆったりとした暮らしが見える。

■その他計画されている仕掛けづくり

都市計画マスタープランにおいては、徳島駅から眉山までのシンボルエリアの活用、歩行者天国の開催、景観整備等、地域住民から提案されたまちづくりのアイデアを掲載。



- 徳島駅から眉山までのシンボルエリアの活用
 - ・徳島駅と眉山ロープウェイの連結
 - ・駅前通りの景観整備
 - ・駅前通りでの物産市、歩行者天国等の開催
 - ・歩行者支援機能の導入検討(動く歩道、遊覧バス)
- 歴史散策みちづくり
 - ・案内版の設置
 - ・歴史散策マップ作成